

## ダイヤホット

お湯の量も、置き場所も、使い勝手も  
ちょうどいいが選べるエコキュート




**NEW**

❄️ 寒冷地対応

\*単相電源機種のみ

## 三菱 小型業務用エコキュート

\*「エコキュート」は関西電力の登録商標です。  
「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが推奨する自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ給湯機の変称です。  
\*本カタログに掲載の本体写真は脚部カバー（別売部品）付きです。

 **しあわせをシェアしよう。**

# カーボンニュートラルの実現に向け エコキュートが貢献する時代へ！

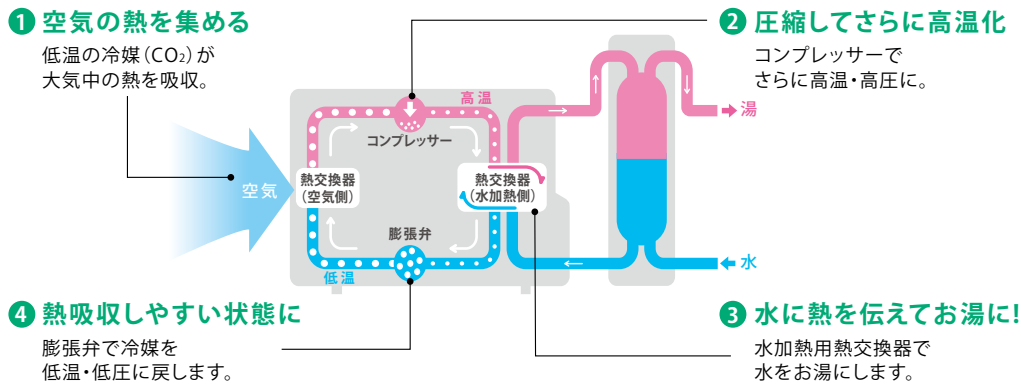
2050年までにカーボンニュートラルを実現。

今、この高い目標に向かってあらゆる分野での取り組みが進んでいます。

給湯分野ではCO<sub>2</sub>排出を大幅に削減するヒートポンプ給湯機「エコキュート」が注目を集めており、お湯を使う工場や施設・店舗でのご採用が増えています。

三菱 小型業務用エコキュートは脱炭素化と低コスト化の両立で皆さまに貢献し、給湯を通じて持続可能な未来を目指していきます。

## 空気の熱でお湯をわかす、高効率なエコキュートのしくみ

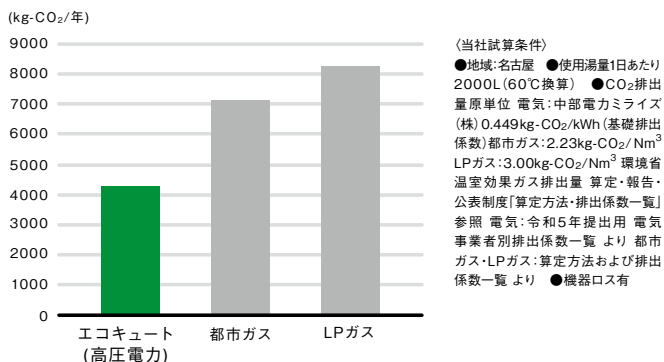


### 電気温水器からの更新にオススメ

電気温水器からエコキュートに買替で給湯消費電力量の削減に期待できます。残湯量が少なくなれば都度わか上げを行うため貯湯量が少なくなるケースもあります。

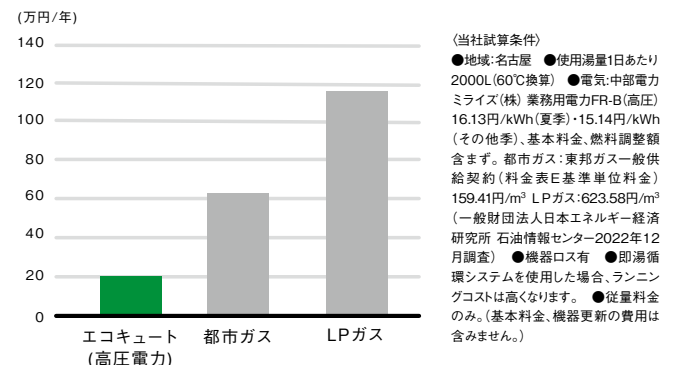
## CO<sub>2</sub>排出量削減で環境に配慮

### 〈CO<sub>2</sub>排出量比較〉 目安



## 高効率な運転でランニングコストを低減

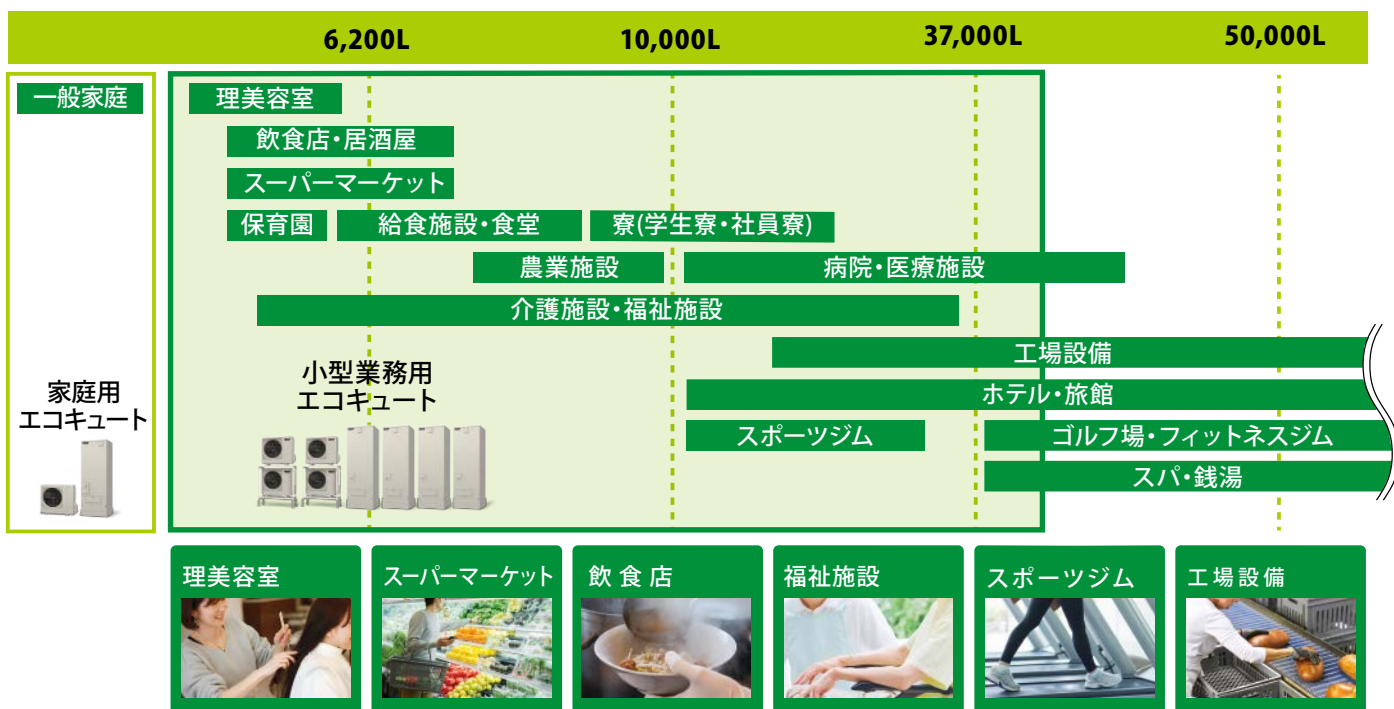
### 〈ランニングコスト比較〉 目安





小さな店舗から福祉施設や工場、宿泊施設の給湯まで！  
 小型業務用エコキュートは550Lのタンクを連結できるので  
 ニーズに応じた容量のご提案が可能です。

使用可能湯量(60℃換算)<sup>※1</sup>



※1：【試算条件】[1日あたりの最大使用可能湯量]●夏期:外気温25℃(乾球)/21℃(湿球)、水温24℃、運転時間11時間 ●中間期:外気温16℃(乾球)/12℃(湿球)、水温17℃、運転時間11時間 ●冬期:外気温7℃(乾球)/6℃(湿球)、水温9℃、運転時間13時間 ●冬期(兼霜期):外気温2℃(乾球)/1℃(湿球)、水温5℃、運転時間20時間[集中時使用可能湯量]タンク内温度75℃、タンク満タン時

# すぐにお湯が使える！ 即湯循環機能



## 蛇口をひねれば、すぐにお湯が使える

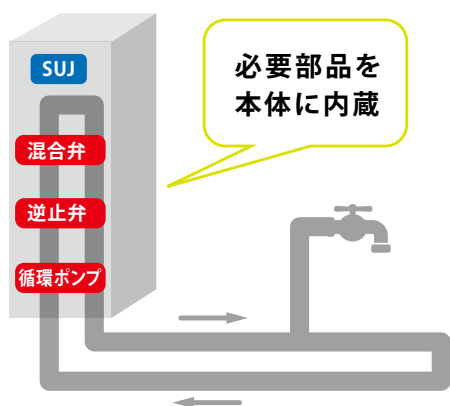
対象機種 SUJ

即湯循環機能は給湯配管内にお湯を循環させておき、蛇口の近くまで常に温かいお湯を届け、即湯循環配管内のお湯の温度を一定に保つ機能です。給湯機から離れた場所のシャワーや水栓でお湯が出るまでの待ち時間を短縮します。



\*即湯循環機能にはGE-553SUJ 1台と給湯量に合わせてGE-553SU 0~3台が必要です。連結可能台数は合計4台までです。GE-553SUJのみでも即湯循環機能は使用できます。  
\*即湯循環配管は、1系統までです。\*浴槽の循環・保温はできません。  
\*SUJ機種は必ず即湯戻り配管の施工をしてください。

## 必要部品が内蔵されたオールインワン貯湯ユニットで設計・施工も簡単



- 必要部品を別々に見積・手配をする必要がなく、**簡単設計・省施工。**
- 本体に必要な部品を内蔵しているので、**メンテナンスも当社のみで完結。**
- **追加部品手配が不要**で省コスト。



# こちらの業種・業態におすすめです

## 介護・福祉施設



入浴介助の時間と水を少なく！

## 理美容室



シャンプーの時もお湯待ちの時間が短い！

## 保育園



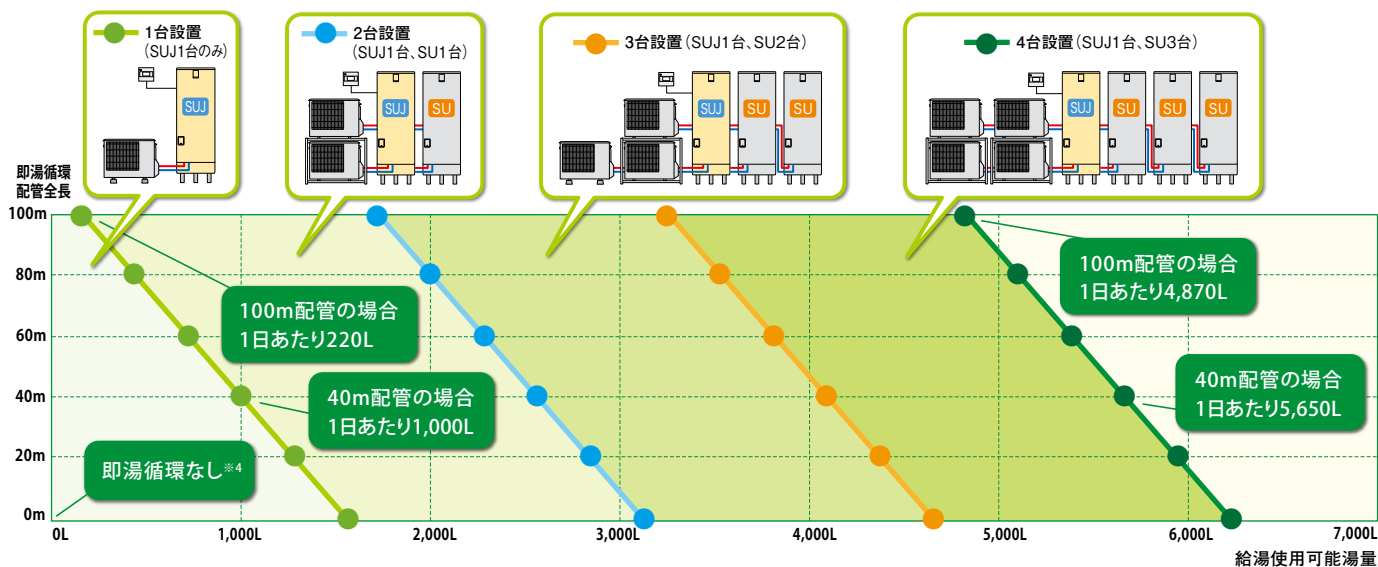
厨房でも沐浴室でもお湯がすぐに使える！

## 即湯循環機能の使用可能湯量 ※1 ※2 ※3

即湯循環配管方式の場合は、配管の長さに応じた台数設定が必要です。

**SUJ** 即湯循環機種貯湯ユニット (GE-553SUJ)

**SU** 貯湯ユニット (GE-553SU)

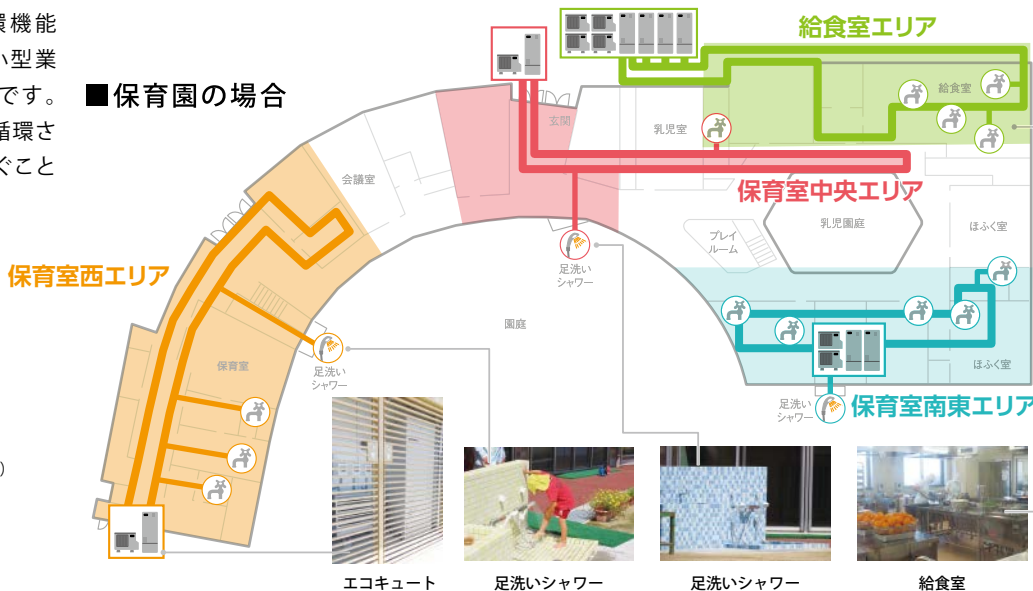


※1:使用可能湯量は目安です。グラフの使用可能湯量は60℃換算をした計算値です。台数選定の際は放熱等のロス分を考慮してください。詳しくはヒアリングシート(P25-26)にご記入いただき、当社営業窓口へお問い合わせください。  
 ※2:【試算条件】●夏期-外気温25℃(乾球)/21℃(湿球)、水温24℃、運転時間 約17時間(SUJ)/約11時間(SU) ●中期-外気温16℃(乾球)/12℃(湿球)、水温17℃、運転時間 約19時間(SUJ)/約11時間(SU) ●冬期-外気温7℃(乾球)/6℃(湿球)、水温9℃、運転時間 約23時間(SUJ)/約13時間(SU)  
 ※3:浴槽の循環・保温はできません。  
 ※4:即湯循環機能を使用しない場合、SUJ機種は不要です。別の機種を選定してください。

## 小型業務用エコキュートなら、エリアごとの即湯循環が可能です

エリアに分けて即湯循環機能を設定できるのが三菱 小型業務用エコキュートの強みです。お湯を使う場所の近くで循環させることで放熱ロスを防ぐことができます。

### ■保育園の場合



### 〈見取り図〉

- …シャワー
- …手洗い(湯水混合栓)
- …エコキュート

エコキュート

足洗いシャワー

足洗いシャワー

給食室

最大24台<sup>\*1</sup><sup>\*2</sup>まで

# 複数台連結で大容量給湯にも対応



## お客様の使用湯量に合わせて様々なバリエーションに対応

- 最大24台<sup>\*1</sup><sup>\*2</sup>まで連結することで使用湯量が約37,200Lの施設も対応が可能<sup>\*3</sup><sup>\*4</sup>
- 理美容室のような小規模店舗から大浴場のある福祉施設・寮・給食センターなどお湯の使用量が多い施設まで幅広くご提案ができます。

### 例えば

#### 理美容室などの小規模店舗なら



1台 使用可能湯量：約1,550L<sup>\*3</sup>

#### 大浴場のある福祉施設なら



使用可能湯量：約37,200L<sup>\*3</sup>

(6グループの場合同時出湯蛇口数の目安は18か所です。シャワーの場合は12か所を目安としてください。)

## 設置台数ごとの構成例と使用可能湯量の目安<sup>\*3</sup><sup>\*4</sup>

■ 集中時使用可能湯量 ■ 1日あたりの最大使用可能湯量

設置台数	機器構成イメージ	加熱能力	貯湯量	3,000L	6,000L	9,000L	12,000L	15,000L	18,000L	40,000L	対象機種
1台設置		7.2kW	550L								SUJ <sup>*5</sup> 、SU、SUR、UD、URD
2台設置		14.4kW	1,100L								SUJ+SU <sup>*5</sup> 、SU、SUR、UD、URD
3台設置		21.6kW	1,650L								SUJ+SU <sup>*5</sup> 、SU、SUR、UD、URD
4台設置		28.8kW	2,200L								SUJ+SU <sup>*5</sup> 、SU、SUR、UD、URD
6台設置 (3台2グループ) <sup>*6</sup>		43.2kW	3,300L								SUR、URD
9台設置 (3台3グループ)		64.8kW	4,950L								SUR
12台設置 (4台3グループ)		86.4kW	6,600L								SUR
24台設置 (4台6グループ)		172.8kW	13,200L								SUR

※1：5台以上はURD機種、SUR機種のみ。7台以上の連結はSUR機種のみ。

※2：三相電源機種(SUJ、SU、SUR)は1つのリモコンで1グループ(4台)まで制御出来ます。単相電源機種(UD、URD)は貯湯ユニット(1台)+ヒートポンプユニット(1台)+リモコン(1台)が1セットとなります。また、SUR、URDは同時給湯6台まで。

※3：【試算条件】[1日あたりの最大使用可能湯量] ●夏期：外気温25℃(乾球)/21℃(湿球)、水温24℃、運転時間11時間 ●中間期：外気温16℃(乾球)/12℃(湿球)、水温17℃、運転時間11時間 ●冬期：外気温7℃(乾球)/6℃(湿球)、水温9℃、運転時間13時間 ●冬期(着霜期)：外気温2℃(乾球)/1℃(湿球)、水温5℃、運転時間20時間[集中時使用可能湯量]タンク内温度75℃、タンク満タン時

※4：グラフの使用可能湯量は60℃換算をした計算値です。台数選定の際は放熱等のロス分を考慮してください。詳しくはヒアリングシート(P25-26)にご記入いただき、当社営業窓口へお問い合わせください。

※5：即湯循環配管長が0m時。配管長に伴い使用可能湯量は変わります。詳細はP4をご確認ください。

※6：GE-Y553URDの場合、グループ設定はありません。

# ロケーションやニーズに合わせて 選べる設置スタイル



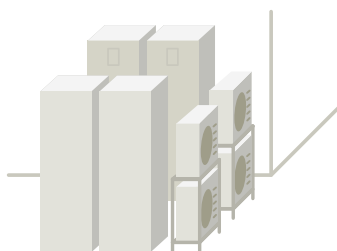
## 置き方のバリエーションが豊富!

●設置場所のスペースに合わせて、自由に配置ができます。

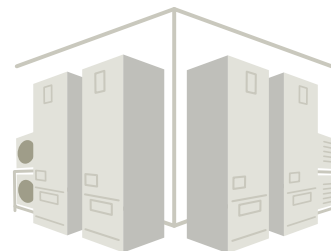
①横並びに設置



②正方形に設置



③L字型に設置

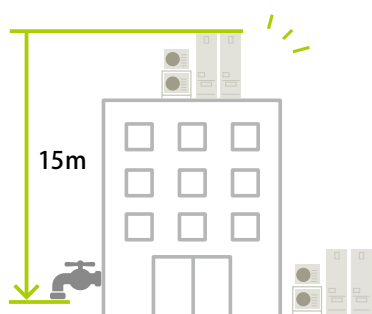


**NEW**

## 屋上への設置も可能

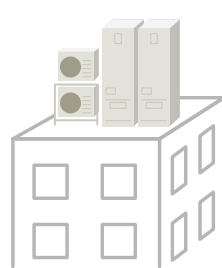
対象機種 SU、SUR、UD、URD

●階下給湯の高低差制約は「貯湯ユニットの天面から15mまで」なので、  
屋上設置をしたい場合の対応も可能です。\*7 \*8

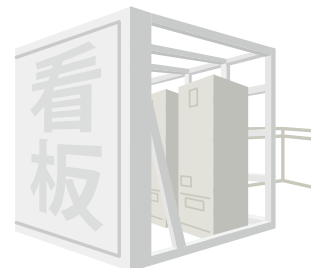


地上階設置\*9も屋上設置も可能

例えばこんなパターン



テナントビルなど  
設置スペースが狭い場合



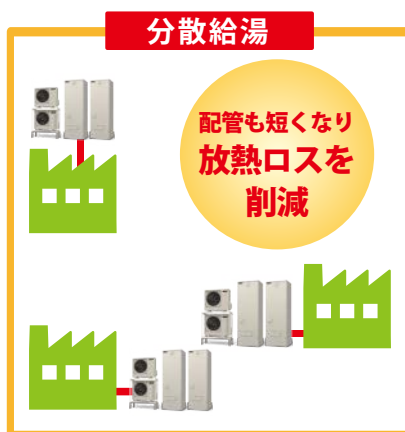
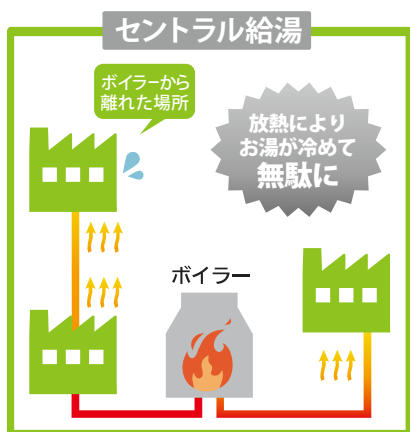
意匠面を配慮したい場合  
看板や衝立で隠したい場合

\*7: GE-553SUJ1台+GE-553SUで接続されている場合は貯湯ユニットの天面から5mまでです。

\*8: 2階以上に据え付ける場合は、必ず天部も上部振れ止め金具で固定してください。詳細は脚固定工事、上部振れ止め工事(P21)をご確認ください。

\*9: 階上給湯は3階まで(8m程度)を目安としてください。

## 分散給湯をすることで、大規模施設へのご提案も可能!



お湯を使用する箇所に給湯機を設置する分散給湯により配管放熱ロスを削減して、ランニングコストとCO<sub>2</sub>を削減することが可能。施設全体の給湯がストップするようなリスクを分散できるほか、ボイラー技士などの有資格者や法令点検が不要などのメリットも。

# 業務用にうれしい機能が満載！

## ■店舗・施設にぴったりのわき上げ制御機能

### わき上げ温度設定

わき上げ温度が高いと、たっぷりお湯が使えます。わき上げ温度を下げると消費電力を抑えられます。

#### ●設定範囲

設定	わき上げ温度目安	わき上げ内容
高	約85℃	設定された営業時間中は、最低湯量の設定量を下回るとわき上げを開始します。
中	約75℃※1	
低	約65℃※1	
自動※2	約65℃～約85℃	過去の使用湯量から学習したお湯の量を自動でわき上げるモードです。

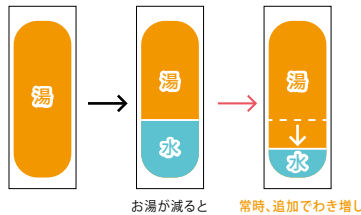
工場出荷時は高

※1：即湯運転設定中は「中：80℃」「低：75℃」です。  
 ※2：GE-553SUR、GE-Y553URDにはありません。

### 最低湯量設定

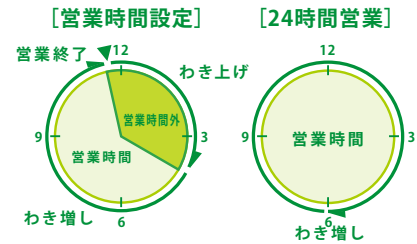
わき増しで一定湯量を確保し、湯切れのリスクを軽減する機能です。営業時間中は、常に一定の湯量を確保するようにわき上げを行います。確保する湯量は3段階で設定できます。

※最低気温がマイナス10℃以下になる地域で使用する場合は、300Lまたは400Lに設定してください。



### 営業時間設定

営業時間に合わせてかきこくわき上げを行う機能です。営業時間を設定すると、営業時間開始に合わせてタンク内を満タンまでわき上げます。営業時間外が8時間未満の場合は、24時間営業設定をおすすめします。

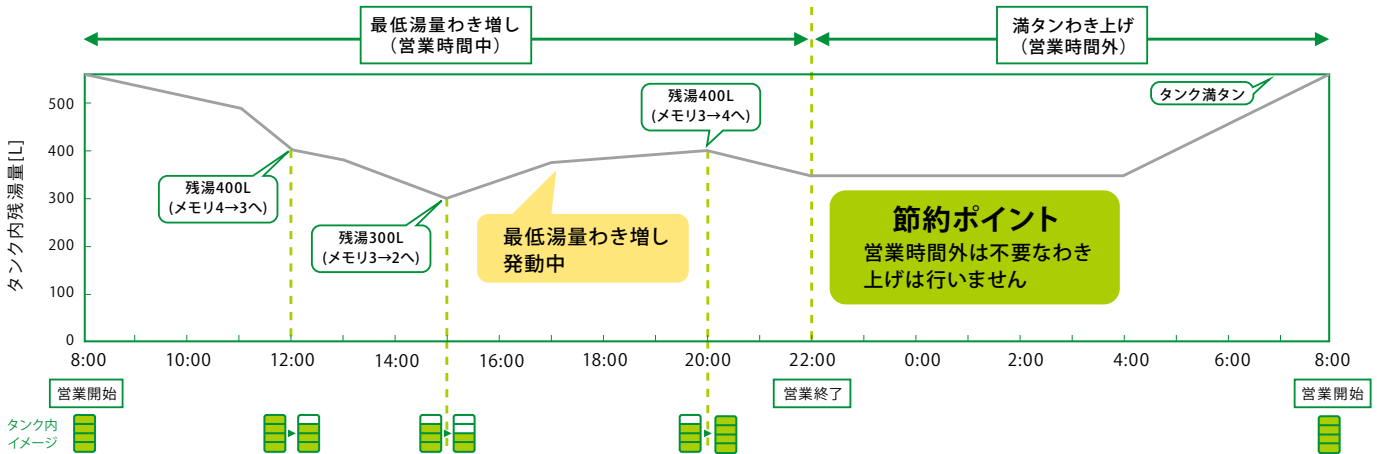


### わき上げ・わき増し動作イメージ

\*貯湯ユニット1台あたりの動作を示しています。

わき上げ温度設定「高」「中」「低」(営業開始時間8:00 終了時間22:00設定、最低湯量レベル2の場合)

\*单相電源機種の場合は最低湯量300Lの場合となります。  
 \*1日の必要湯量によっては、満タンまでわき上げないことがあります。

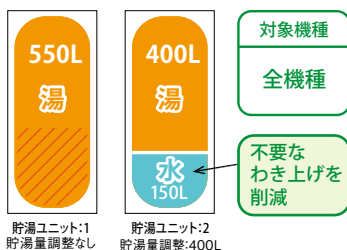


## ■その他にも便利で快適な機能を搭載

### 貯湯量調整機能

ムダを削減

お湯が余らないようにタンクごとの貯湯量を調整し、必要な湯量だけわき上げができる機能です。

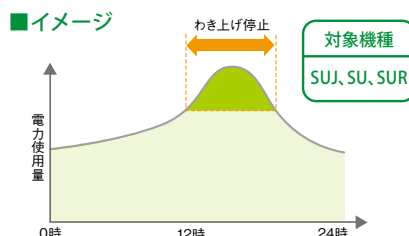


〈設定範囲〉  
 3段階 (300L/400L/550L)  
 \*工場出荷時は550L

### 外部入出力端子

ピークカット

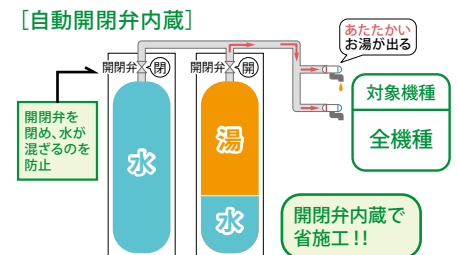
外部入出力端子を利用し、他機器との連携制御が可能です。外部制御基盤からのデマンド制御により、空調・照明など日中の電力負荷状況に応じて、電力の負荷平準化(ピークカット)に貢献します。



### 自動開閉弁内蔵

快適給湯

自動開閉弁内蔵で、お湯を使い切ったタンクからの入水を防ぎます。複数連結でも給湯温度が低下しません。



\*全てのリモコンで同じ設定を行ってください。



# 災害への備えもしっかり

断水  
対策

貯湯ユニット内の水(お湯)を生活用水に活用できます

NEW

**パカッとハンドル**

\*脚部カバーは別売、ハンドル部分は本体備え付けです。

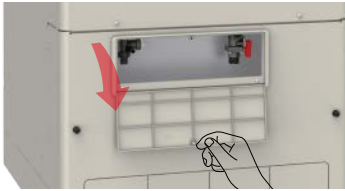
非常時に水を取り出しやすく、  
給水の開閉もわかりやすく

対象機種

全機種

ポイント  
1

パカッと あける

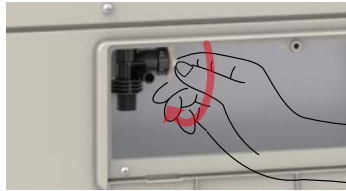


\*イメージ図

脚部カバーを外さずに、  
取水窓を開けて非常用取水栓に  
簡単アクセス。<sup>※1</sup>

ポイント  
2

クルッと まわす



\*イメージ図

ハンドルを回すと吐出口から  
水(お湯)が出ます。<sup>※2※3</sup>



貯湯ユニット内の  
水(お湯)の取り出し手順を  
貯湯ユニットに記載



給水配管専用止水栓

貯湯ユニットに標準装備。  
給水の開閉もわかりやすく、  
操作も簡単です。

\*写真は「開」の状態です。出荷時は「閉」になっています。  
\*貯湯ユニット本体に逆止弁を内蔵。

※1:脚部カバーがない場合、取水窓を開ける操作は必要ありません。  
※2:ホース不要で水(お湯)を取り出せます。ただし熱湯が出る場合がありますのでご注意ください。  
※3:水(お湯)の取り出しには、別途、電源・給水配管専用止水栓・逃し弁の操作が必要になります。

4台連結の場合で

550L×4=2,200Lの水を確保。

複数のタンクから同時に取水も可能!



\*飲用水としては使用できません。やむを得ず飲用する際は必ず一度沸騰させてください。  
\*イラストはパカッとハンドルのイメージです。

2024年4月より

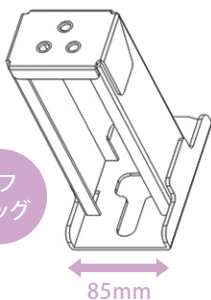
介護事業所でのBCP対策  
(生活用水の確保)が義務化

すべての介護事業所において「感染症や災害発生時であっても利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制の構築」を義務化。事業者はBCP対策とともに、研修や訓練が必要になります。その中に入浴介助の項目もあり、非常用水の取り出しが簡単な三菱 小型業務用エコキュートは、使いやすく、いざという時に役立ちます。

地震  
対策

耐震クラスS対応 <sup>※4 ※5</sup>

貯湯ユニットの脚部は施工しやすい三本脚。  
さらに接地面積の広いタフレッグを採用する事で  
「耐震クラスS(水平震度1.0)」を達成しています。



タフレッグ

85mm

※4:(一財)日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における局部震度法による設備機器の地震力に基づいて設計。詳細はP21をご覧ください。設置面や設置方法によって対応できる耐震クラスが異なります。

※5:地階および1階ならびに敷地の部分に設置、上部振れ止め金具(2個同種)2か所固定、アンカーボルト3本固定において。

停電  
対策

停電時出湯

貯湯ユニットにお湯が残っている場合、停電の際もシャワー/蛇口でお湯をお使いいただけます。

\*停電時にはわき上げ、わき増しはできません。  
\*温度調整ができないので、設定温度と異なる温度のお湯が出る場合があります。  
また、タンク内のお湯の量が少なくなると温度は下がります。  
\*断水時にはシャワー/蛇口からお湯が出ないため、非常用取水栓(パカッとハンドル)をご使用ください。  
\*GE-553SUJは除く。  
\*リモコンの開閉弁設定が「ローテーション」の場合は停電時に開いている貯湯ユニット分のみご使用いただけます。

停電  
対策

日時バックアップ

停電の際も、本体内蔵のリチウム電池によるバックアップで、リモコンの設定内容をそのままキープ。面倒な再設定の必要がありません。

\*長時間の停電時は、念のため日時にズレがないか確認してください。

# LINE UP

電源	三相電源(200V)			単相電源(200V) <small>発売予定:24年7月中旬</small>		
 <p>写真は三相電源機種です。 *脚部カバーは別売です。</p>	標準品	<b>GE-553SUJ</b> 価格 <b>1,638,000</b> 円(税別)	<b>GE-553SU</b> 価格 <b>1,263,000</b> 円(税別)	<b>GE-553SUR</b> ※5 価格 <b>1,263,000</b> 円(税別)	<b>GE-Y553UD</b> 価格 <b>1,220,000</b> 円(税別)	<b>GE-Y553URD</b> 価格 <b>1,220,000</b> 円(税別)
	耐重塩害仕様品	<b>GE-553SUJ-BSG</b> 価格 <b>1,708,000</b> 円(税別)	<b>GE-553SU-BSG</b> 価格 <b>1,333,000</b> 円(税別)	<b>GE-553SUR-BSG</b> 価格 <b>1,333,000</b> 円(税別)	<b>GE-Y553UD-BSG</b> 価格 <b>1,290,000</b> 円(税別)	<b>GE-Y553URD-BSG</b> 価格 <b>1,290,000</b> 円(税別)
対応リモコン	<b>RMC-GE3S</b> 価格 <b>30,000</b> 円(税別)			<b>RMC-GE3</b> 価格 <b>30,000</b> 円(税別)		

すぐにお湯が使える	P3	即湯循環機能			
給湯スタイル	P10	混合給湯	高温給湯	混合給湯	高温給湯
設置環境	P10	一般地※2		一般地・寒冷地 兼用※2	
最大設置台数※1	P5	4台		24台	4台
同時給湯数	—	4台まで		6台まで	6台まで
給湯圧力	P9	ハイパワー給湯(290kPa) 3階でもシャワー、洗髪洗面化粧台をご使用いただけます。			
階下給湯	P6	貯湯ユニットの 天面から5m	貯湯ユニットの天面から15m※6		
非常用取水	P8	パカッとハンドルで簡単取水			
停電時にお湯が使える	P8	停電時出湯			
外部制御が出来る	P7	外部入出力端子			
リモコン制御	P16	1リモコンで4台まで制御※3		1リモコンで1台制御※4	

**形名の見方**

〈システム形名〉

GE	-	Y	55	3	S	U	J	R	D	-	BSG
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11

〈記号、数字の意味〉

- ①タイプ [ GE:小型業務用ヒートポンプ給湯機 ] ②仕向地 [ Y:一般地・寒冷地兼用、□:一般地 ]
- ③タンク容量 [ 55:550L ] ④シリーズ番号 [ 3:2023年度モデル ]
- ⑤電源 [ S:三相200V、□:単相200V ] ⑥ハイパワー給湯対応 [ U:ハイパワー給湯 ]
- ⑦循環機能 [ J:即湯循環機能あり、□:即湯循環機能なし ]
- ⑧給湯方法 [ □:混合給湯のみ、R:高温給湯のみ ] ⑨エマージェンシーストップ機能有無 [ D:有り、□:無し ]
- ⑩特定専用仕様 [ BSG:耐重塩害仕様、□:標準品 ]

※1:GE-553SUJとGE-553SUとの連結を除き、異なる形名との連結はできません。連結について、三相電源機種はP13、単相電源機種はP15、電気工事についてはP16をご確認ください。

※2:一般地とは省エネ基準地域区分4～8地域。寒冷地とは省エネ基準地域区分1～3地域 および 外気温がマイナス10℃を下回る地域。省エネ基準地域区分 (<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/works/nakatsugawa/kankisen/member/jfan/pdf/locate.pdf>)

※3:GE-553SURにて複数グループがある場合はグループ別のリモコンが必要です。

※4:単相電源機種は、貯湯ユニット(1台)+ヒートポンプユニット(1台)+リモコン(1台)が1セットです。連結台数に合わせてリモコンが必要になります。

※5:在庫状況によっては、注文後発送するまでに2～3カ月かかる場合があります。 ※6:SUJ機種とSU機種を連結する場合は、SU機種も貯湯ユニット天面から5mになります。

## 別売部品

<b>脚部カバー</b>  <b>GT-M550W</b> 価格 <b>20,000</b> 円(税別) <b>GT-M550W-BSG★</b> 価格 <b>26,500</b> 円(税別)	<b>空気抜き弁</b>  <b>GT-20H</b> 価格 <b>8,500</b> 円(税別)	<b>リモコンケーブル</b>  (20m) LM-620B 価格 <b>3,000</b> 円(税別) (50m) LM-650B 価格 <b>7,500</b> 円(税別)	<b>アース棒</b>  <b>GT-30F</b> 価格 <b>1,500</b> 円(税別)	<b>防雪架台</b>  <b>NEW</b> 1 高置台 <b>GT-124B-A</b> 〈単体使用可能〉 価格 <b>56,000</b> 円(税別)
<b>ヒートポンプ架橋PE配管セット</b> <b>GT-KPSET5</b> ※7 ※8 (5m×2本、継手) 価格 <b>25,000</b> 円(税別) 保温材(ユニオンアダプタ用) ユニオンアダプタ(継手) 結束バンド 	<b>ヒートポンプ配管 (5m)</b> 	<b>ヒートポンプ架橋PE配管用継手セット</b> <b>GT-KPTGSET</b> (パッキン入) 価格 <b>15,000</b> 円(税別) ユニオンアダプタ(継手) 保温材(ユニオンアダプタ用) 結束バンド 	<b>ヒートポンプ架橋 ※7 ※8</b> <b>PE配管</b> ヒートポンプ配管(25m)  <b>GT-KP25</b> (25m) 価格 <b>48,000</b> 円(税別)	2 防雪屋根 <b>GT-124B-B</b> (GT-124B-Aが必要) 価格 <b>33,000</b> 円(税別) 3 防雪板 後・左 <b>GT-124B-C</b> (GT-124B-A、Bとも必要) 価格 <b>26,000</b> 円(税別)

★耐重塩害仕様

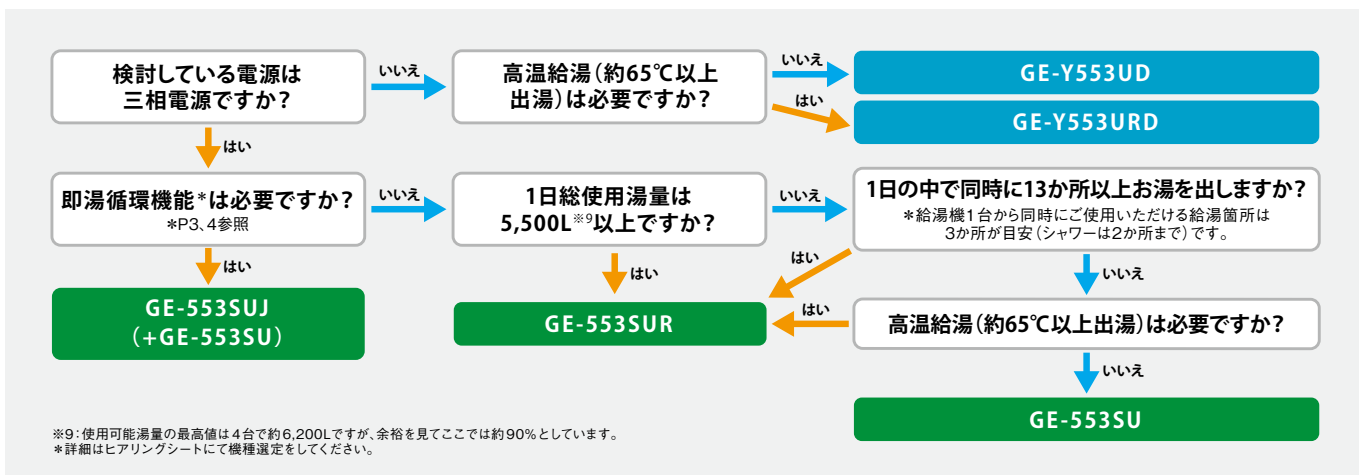
※7:ヒートポンプユニット配管工事は更新性※を考慮して実施してください。

※更新の際に、床、壁、天井などの工事を伴わず、容易に交換可能な設置(例:貯湯ユニットとヒートポンプユニットの近接設置)。更新性につきましては、販売店・工事店様にて判断をお願いいたします。

※8:当社別売部品のヒートポンプ配管は、据え付け後8年以内に更新してください。配管を更新しない場合、ヒートポンプ配管が劣化し水濡れの可能性があります。

# 三菱 小型業務用エコキュートの選び方

お湯の使い方、必要な量、設置場所などに合わせて、ぴったりのエコキュートをここから。



## 高温給湯と混合給湯

高温給湯はお湯をたくさん使う施設にご採用されています(給食センターで使用されるコンベア式の食洗機など)。混合給湯は保育園や理美容室をはじめ、対人給湯を行う業態でのご採用が多いです。

## 耐重塩害仕様(受注生産)

臨海地域の店舗・施設には耐重塩害仕様をオススメします。

海により近く、潮風が直接当たりやすい設置場所なら、耐重塩害性能を高めた強化仕様をお選びください。

### 〈耐重塩害仕様の設置について〉

- 「耐重塩害仕様」は(一社)日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002に基づいています。  
【お願い】耐重塩害仕様を使用した場合でも発錆に対して万全ではありません。  
設置やメンテナンスに際しては下記事項に留意願います。
- ①海水及び潮風に直接さらされることを極力回避するような場所に設置してください。
  - ②外装パネルに付着した塩分等が雨水により十分洗浄されるような場所に設置してください。
  - ③機器の状態を定期的に点検し、必要に応じて再防錆処理や部品交換などを実施してください。
  - ④海岸地域での据付品については、付着した塩分を除去するために、定期的に水洗いをしてください。
  - ⑤基礎部分については排水性を確保してください。

直接潮風が当たらないところ

※JRA 9002に基づく

直接潮風が当たるところ

※JRA 9002に基づく

■設置距離目安

	設置距離目安		備考
	300m	500m	
①内海に面する地域	耐重塩害仕様	標準品	瀬戸内海
②外洋に面する地域	耐重塩害仕様		
③沖縄、離島	耐重塩害仕様		

■設置距離目安

	設置距離目安		備考
	300m	500m	
①内海に面する地域	耐重塩害仕様	標準品	瀬戸内海
②外洋に面する地域	耐重塩害仕様		
③沖縄、離島	耐重塩害仕様		

\*耐重塩害仕様は受注生産にて承ります。納期はご注文後約3ヶ月です。  
詳しくは当社営業窓口までお問い合わせください。

## 寒冷地仕様 NEW

最低気温がマイナス25℃の寒さでもご利用いただける「一般地・寒冷地兼用機種」があります

最低気温がマイナス10℃～マイナス25℃までの地域では、一般地・寒冷地兼用機種をお選びください。

※GE-Y553UD(-BSG)、GE-Y553URD (-BSG)機種のみ。

### 凍結防止ヒータの複数装備

貯湯ユニットには凍結防止ヒータを複数装備され、ヒートポンプユニットにはベースヒータが標準装備されています。

### エマージェンシーストップ機能付き

タンク缶体や配管部の水漏れを検知すると、ただちに給水を止める機能です。屋内に設置した場合でも安心してご利用になれます。

※屋内設置時は床面の防水・排水工事を確実に行ってください。

<p>アンカーボルト (脚部固定用)</p> <p>GZ-B1F (φ12×100mm・30本入) 価格16,000円(税別)</p>	<p>アンカーボルト (上部固定用)</p> <p>GZ-B2F (φ10×60mm・50本入) 価格15,000円(税別)</p>	<p>脚固定金具</p> <p>GZ-6E 価格2,500円(税別)</p>	<p style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">市販品の一例</p> <p>二段架台 クーラーキャッチャー C-WJ-LH2</p>
<p>防雪カバー</p> <p>GT-127B★ 価格24,000円(税別)</p>	<p>風向ガイド</p> <p>GT-137A★ 価格11,000円(税別)</p>	<p>ファン保護ルーフ</p> <p>GT-134A★ 価格3,000円(税別)</p>	<p>■お問合せ先 日晴金属株式会社 東京営業所 キャッチャー営業部 (クーラーキャッチャー) TEL.03-3412-7539 FAX.03-3418-4560</p> <p style="font-size: small;">*ヒートポンプユニットを取り付けて撮影したものです。</p>

★耐重塩害仕様 \*防雪カバー、風向ガイドおよびファン保護ルーフを取り付けて撮影したものです。写真はイメージです。  
防雪カバー、風向ガイド、ファン保護ルーフは併用できません。

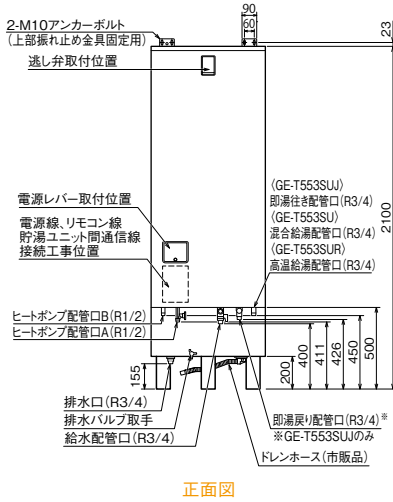
# 外形寸法図

\*製品の仕様は改良などのため変更することがあります。

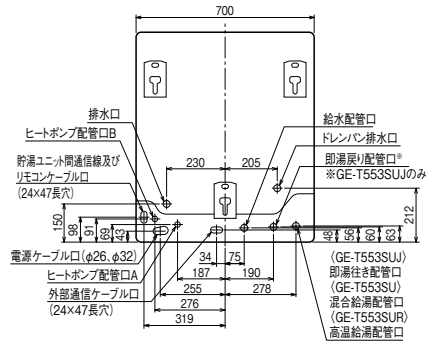
\*代表形名のみ表示。耐重塩害仕様は形名の末尾に「-BSG」が付きます。

## 貯湯ユニット

GE-T553SUJ, GE-T553SU, GE-T553SUR

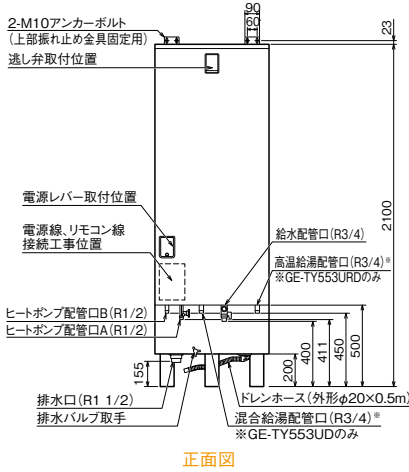


正面図

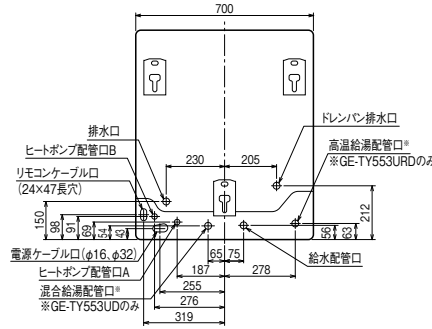


配管位置上面透視図

GE-TY553UD, GE-TY553URD

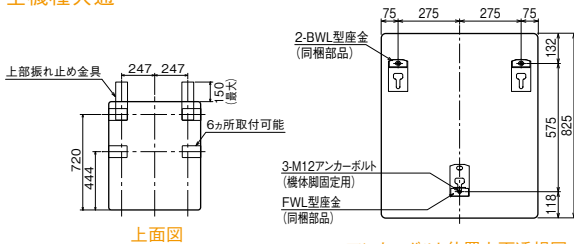


正面図



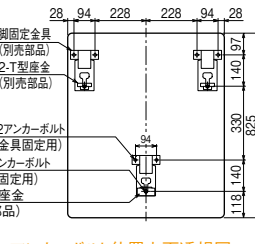
配管位置上面透視図

## 全機種共通

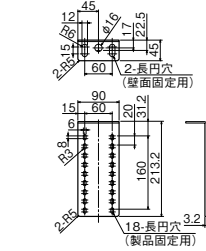


上面図

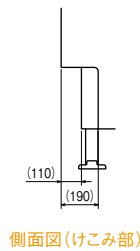
アンカーボルト位置上面透視図 (標準施工時)



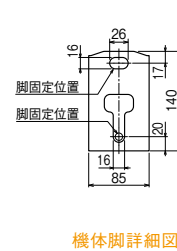
アンカーボルト位置上面透視図 (標準施工ができない場合)



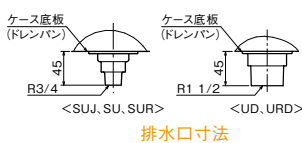
上部振れ止め金具 (同梱部品)



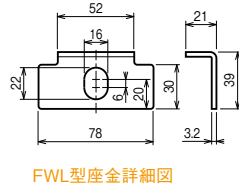
側面図 (けこみ部)



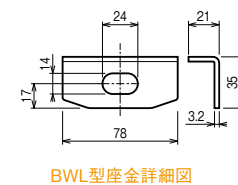
機体脚詳細図



排水口寸法



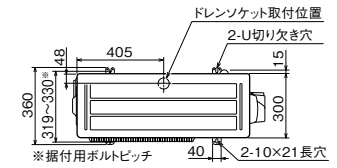
FWL型座金詳細図



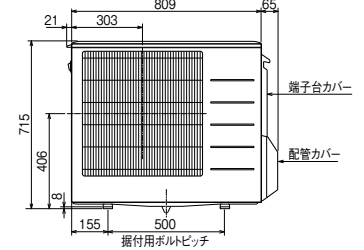
BWL型座金詳細図

## ヒートポンプユニット

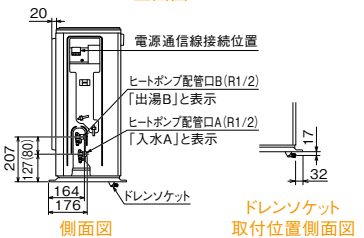
GE-U723S



上面図



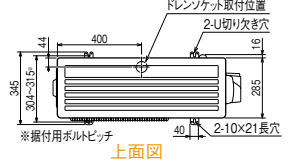
正面図



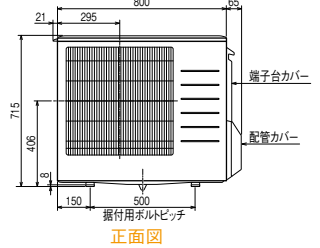
側面図

ドレンソケット取付位置側面図

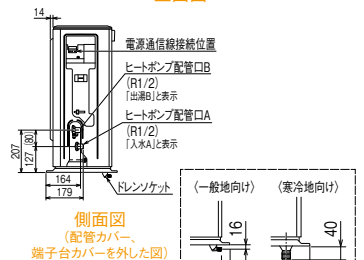
GE-UY723



上面図



正面図

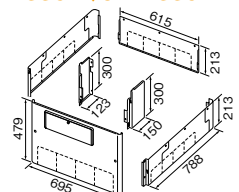


側面図

ドレンソケット取付位置側面図 (配管カバー、端子台カバーを外した図)

## 脚部カバー (別売部品)

GT-M550W, GT-M550W-BSG



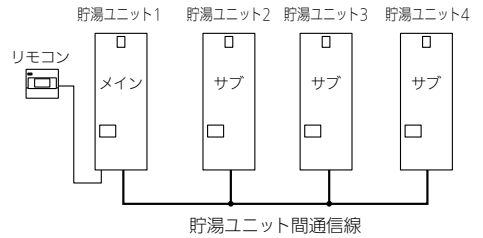




## 貯湯ユニット間の配線工事 (SUJ, SU, SURのみ)

### 貯湯ユニット間の接続概要図

- 各貯湯ユニット間の配線長を30m以内としてください。
- 貯湯ユニット間通信線は3芯式(黒、白、赤)、0.3~1.65mm<sup>2</sup>、67.6Ω/km以下を使用してください。
- 必ず貯湯ユニットのID設定を実施してください。1台で使用する場合もID設定が必要です。IDを誤設定すると「H01」や「H30」エラーが発生します。また、わき上げできずお湯がたりなくなる場合があります。



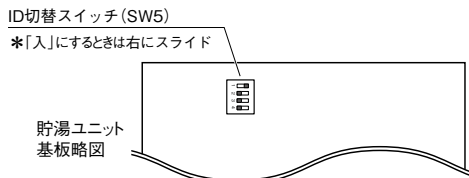
### 貯湯ユニットのID設定方法

- 人体に帯電した電荷を放電させるため、貯湯ユニットの金属部分に触れてください。
  - 貯湯ユニットのID設定時は、電源ブレーカー及び漏電遮断器を「切」にしてください。
  - 貯湯ユニットのID設定は、貯湯ユニット基板上的ID切替スイッチで行います。
  - 連結して使用する場合は、各貯湯ユニットにID(1~4)を割り当てます。ID:1は下表にしたがってメイン機となる貯湯ユニットに設定してください。
- \*複数グループがある場合は、グループ毎にID(1~4)を割り当てます。(GE-553SUR)

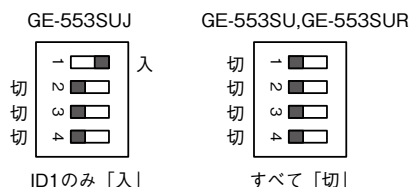
連結機能	貯湯ユニット組み合わせ	メイン機(ID:1)
即湯循環機能	GE-T553SUJ (1台)+GE-T553SU(最大3台)	GE-T553SUJ
混合給湯機能	GE-T553SU(最大4台)	任意
高温給湯機能	GE-T553SUR(4台×6グループの最大24台)	任意

- ID切替スイッチの切替操作は7N以下で行なってください。先端幅が1mm程度の治具を使用すると操作しやすくなります。
- リモコンはメイン機(ID:1)に接続してください。
- 複数連結時は、システム誤接続防止シール(同梱部品)を使用し、割り当てたID番号に対応するシールを各ユニット(貯湯ユニット及びヒートポンプユニット)に貼り付けてください。
- 即湯循環機能をご利用いただく場合を除いて、別形名の連結はできません。

### ■ID切替スイッチの配置

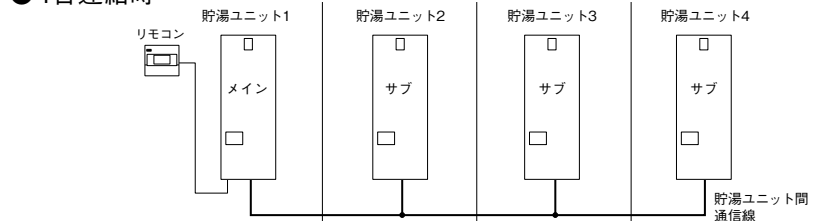


### ■工場出荷時の設定



### ■配置時のID切替スイッチ設定

#### ●4台連結時



ID設定	ID:1	ID:2	ID:3	ID:4
ID切替スイッチ*	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 入	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 入	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 入	<input type="checkbox"/> 入 <input checked="" type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 入 <input type="checkbox"/> 入

\*メイン機:メイン機のID切替スイッチを連結台数分「入」にしてください。(4台連結の場合は、すべて「入」)  
 サブ機:割り当てたIDに該当するID切替スイッチを「入」にしてください。



# 警告

上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工する(配管破損による水漏れの原因)

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。ただし、水質によっては、機器や内部部品※の寿命が通常より短くなる場合があります。 ※タンク・減圧弁・逃し弁・熱交換器など
- 温泉水は使用しないでください。使用期間中の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保が取れず、無償保証できません。
- 水源水圧が300kPa以上確保できる場所で使用してください。(750kPaを超える地域は給水一次側に減圧弁を設けてください。)
- 即湯循環機能を使用する場合は、GE-553SUJ 1台に対してGE-553SUを3台まで連結可能です。連結の際、GE-553SUJを即湯行き配管の最も上流側に配置してください。GE-553SUJを2台以上連結することはできません。
- 即湯循環機能を用いない混合給湯機能を使用する場合は、GE-553SUを4台まで連結可能です。GE-553SUJは連結できません。
- 給湯口には、必ず給水装置の構造及び材質の基準に関する省令に基づく負圧破壊性能基準に適合する機器を設置してください。
- 即湯循環機能を使用しない場合も配管が必要です。
- 定期的(1ヵ月に1回程度)に湯を流すようにしてください。(滞留水の劣化、配管腐食防止のため)

## 各配管の制約及び施工上の注意 必ず、当社配管制約及び配管仕様・性能をご確認の上、配管やパッキンを選定してください。

配管名	耐熱温度		種類	サイズ		継手呼び径(製品)	長さ	曲がり	保温材厚さ	施工上のお願い事項
	配管	パッキン		別売部品	市販品					
① ヒートポンプ配管	95℃以上	95℃以上	銅管 架橋PE管	— ○※1	10A	R1/2	15m※2	5曲がり —※3	● 配管長5m以下10mm以上 ● 配管長5~15m以下20mm以上	● 更新性(更新の際に床、壁、天井などの工事を伴わず、容易に交換可能な設置)を考慮してください。 ● ヒートポンプ配管は極性が異なります。必ず、各ユニットのA-A、B-Bを接続してください。 ● 鳥居3m以下(1カ所まで)を厳守ください。 ● ゴム系の配管は使用しないでください。 ● ヒートポンプユニットの連結はできません。 ● 各貯湯ユニットのヒートポンプ配管口側には同梱のメタルパッキン(黒)を必ず取り付けてください。(水漏れの原因)ユニオンアダプタ内のパッキンと入れ換えてください。二枚重ねでは使用できません。
② 給水配管	—	—	銅管 架橋PE管	— ○	20A(注) 20A(注) 16A(注)	R3/4	—	—	10mm以上推奨	● 給水配管専用止水栓(出荷時閉)が組み込まれています。故障や点検など、排水時に操作が必要です。必ず、取付位置をお客様にご説明ください。
③ 高温給湯配管 (GE-553SURの場合)	90℃以上	90℃以上	銅管	—	20A(注)	R3/4	高温給湯配管・混合給湯配管	即湯行き・戻り配管 100m 30曲がり(全長※5)	● 高温給湯配管・混合給湯配管 10mm以上推奨※	● 階下給湯(天面から5m~15m)で使用する場合は、空気抜き弁を取り付けてください。 ● 故障や点検など、機器のメンテナンスの際に必要な止水栓を各配管に取り付けてください。(高温給湯配管) ● 配管途中に流量調整バルブを取り付けてください。また、各給湯機からの流量が毎分1L以上となるように配管施工してください。 ● 設置台数が7台以上の場合は、1グループにつき1グループ専用流量調整バルブを取り付けてください。また、各グループからの流量が同じ量になるように流量を調整してください。(混合給湯配管、即湯行き・戻り配管) ● GE-553SUJを使用する場合は、必ず即湯戻り配管を施工してください。 ● 給湯機からの流量が毎分1L以上の場合は、4台並列可能です。複数連結で使用する際、配管途中に流量調整バルブを取り付け、各貯湯ユニットからの流量が均等になるように調節してください。 (即湯循環機能で使用するとき) ● 分岐配管は即湯行き配管に接続し、極力短く施工してください。分岐配管が長くなると蛇口からお湯が出るまでの時間が長くなります。 ● 即湯配管の最上流側に空気抜き弁を取り付けてください。
④ 混合給湯配管 (GE-553SUの場合)			架橋PE管	—	20A(注) 16A(注)					
⑤ 即湯行き配管 (GE-553SUJの場合)			HT管※6	—	20A(注)					
⑥ 即湯戻り配管 (GE-553SUJのみ)	90℃以上	90℃以上	銅管 架橋PE管	— ○	20A(注) 20A(注) 16A(注)	R3/4	—	—	—	—
⑦ 排水配管※4	90℃	—	HT管	—	φ50以上	R3/4	—	—	—	● 排水配管は、必ず下り勾配としてください。 ● 口径φ80以上の排水ホッパー及び排水トラップを設置してください。 ● 排水時には最大毎分40L程度排水されるため、十分排水できる工事をしてください。
⑧ ヒートポンプユニット用ドレン配管	—	—	ドレンホース	—	φ16	—	—	—	—	● ドレン配管は、必ず下り勾配としてください。 ● 運転中は少量の水(最大毎分0.5L)が出ます。十分排水できる工事をしてください。 ● ドレンが凍結するおそれがある場合、ドレンソケットは取り付けてください。
⑨ 貯湯ユニット用ドレン配管	—	—	ドレンホース	—	φ14	φ18	—	—	—	● ドレン配管は、必ず下り勾配としてください。

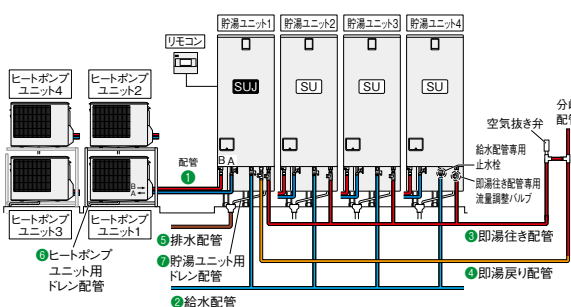
注. 配管サイズ16A/20Aは、貯湯ユニット枝管のサイズです。また、高温給湯配管・混合給湯配管の保温材の厚さ(10mm以上推奨)、即湯行き配管・戻り配管の保温材厚さ(20mm以上推奨)は配管径16A/20Aに対しての厚さです。複数連結で使用する際の主管、枝管のサイズ、高温給湯配管・即湯行き配管・戻り配管の保温材厚さは仕様書または据付工事説明書にしたがってください。

※1. ヒートポンプ配管の架橋ポリエチレン管は当社別売部品をご使用ください。給湯機の入替え時は、ヒートポンプ配管も入れ替えてください。 ※2. 配管が長くなるほど、放熱は大きくなります。 ※3. エルボ継手は使用できません。 ※4. 本体排水口から排水配管にフレキ管で導く場合は、長さ2m2曲がり以内で、必ず下り勾配としてください。また、50mmの排水口空間を確保してください。貯湯ユニットの中に排水があふれるおそれがあります。 ※5. 即湯行き配管と即湯戻り配管をあわせて長さ・曲がりです。 ※6. 高温給湯配管の場合、90℃の時に耐圧320kPa以上の配管を選定してください。階下給湯で使用する場合は、高低差による圧力を考慮してください。配管メーカーが不明の場合は施工業者様の判断で交換をお願いいたします。

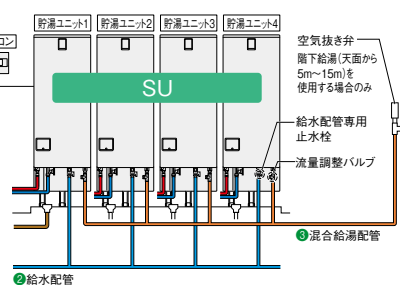
### 【お願い】

- 各配管は、つぶれや折れのないように施工してください。また、異物等が混入しないように施工してください。機器が正常に動作しない場合があります。
- 架橋ポリエチレン管、被覆材は光が当たると劣化します。屋外配管部は、必ずシーリングテープを使用し、遮光してください。
- 排水栓を操作できるように配管を施工してください。
- 混合給湯配管または、高温給湯配管で湯水混合栓を使用する場合はサーモスタット湯水混合栓(逆止弁付)を使用してください。構造により出湯量が極端に少ない場合があります。選定時は、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認してください。手元ストップ機能や、マッサージ機能付のシャワーヘッドは出湯量が少なくなります。
- 水源水圧が低く、即湯配管に高低差がある場合には、即湯戻り配管のエアを抜きやすくするため、給水配管と即湯配管を分岐接続し、給水圧で即湯戻り配管のエアを排出してください。(分岐接続する箇所には止水栓設置)

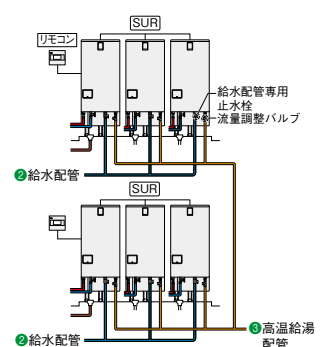
### 〈標準配管例〉 ●即湯循環機能(SUJ) 4台連結時



### ●混合給湯機能 4台連結時 (貯湯ユニット部のみ抜粋)



### ●高温給湯専用機種(SUR) [6台設置2グループの例] (貯湯ユニット部のみ抜粋)



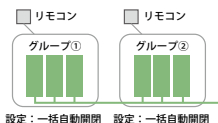
# SUR機種 の同時給湯に関する制約について

複数グループでの接続が可能なSUR機種においては、**同時に給湯出来る台数は6台まで**となります。設置台数が7台以上の場合は給湯開閉弁設定を「ローテーション」としてください。ローテーション制御を行う場合、各グループから1台の給湯となります。<sup>※1</sup>同時給湯台数が増えると、同時に出湯できる蛇口の数が増えます。(給湯機1台から同時にご使用いただける蛇口数は3か所が目安[シャワーは2か所まで]です。)同時給湯台数を増やす場合はグループ数を増やしてください。グループの数に応じてリモコンが必要となります。

## 〈ローテーション制御不要〉

### 1 1～6台設置までの設置例

例:6台の場合



1～6台の場合は、全ての貯湯ユニットから同時給湯が可能です。<sup>※1</sup>

## 〈ローテーション制御要〉

### 2 7台設置以上の設置例<sup>※1※2</sup>

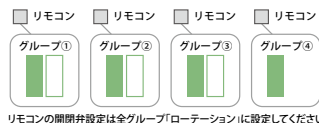
例:7台の場合



2グループの場合、同時給湯できるのは2台。  
\*蛇口目安:6か所

■ は給湯 ON[開] □ は給湯 OFF[閉]

例:7台の場合



4台同時給湯したい場合は4グループ作る。  
\*蛇口目安:12か所

※1:グループ毎にリモコンが1台必要となります。1グループ(1つのリモコンで制御可能)は4台までです。

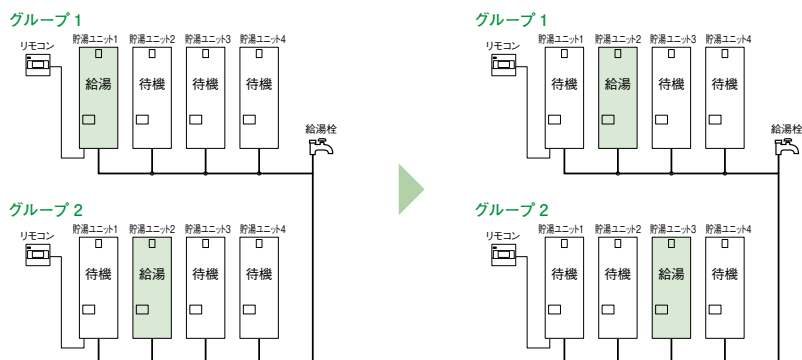
※2:全てのリモコンを「ローテーション」設定にし、同時給湯に必要な台数に合わせてグループを分けます。ローテーション設定の場合、グループ内で出湯できるタンクは1台です。

## ローテーション制御とは?

- 各貯湯ユニットのお湯を偏りなく使用できるように、給湯する貯湯ユニットを自動で切り替えます。
- 複数の貯湯ユニット\*を設置して使用すると、施工条件などによっては各貯湯ユニットから出るお湯の量がばらついてしまう場合があります。ローテーション制御によって給湯する貯湯ユニットを1台ずつ切り替えることで、各貯湯ユニットのお湯を偏りなく使用することができます。

\*設置台数が7台以上になる場合には、ローテーション制御を使用してください。

※ローテーション制御はSUR機種のみ利用可能です。



## ■設置台数別グループ分け一覧表

設置台数[台]	各グループの連結台数						リモコン数	同時給湯台数	蛇口数目安	リモコン設定	
	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6					
1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	3	一括自動開閉 設定
2	2	-	-	-	-	-	1	-	2	6	
3	3	-	-	-	-	-	1	-	3	9	
4	4	-	-	-	-	-	1	-	4	12	
5	3	2	-	-	-	-	2	-	5	15	
6	3	3	-	-	-	-	2	-	6	18	
7	4	3	-	-	-	-	2	推奨	2	6	ローテーション 設定
	2	1	1	1	1	1	6	MAX	6	18	
8	4	4	-	-	-	-	2	推奨	2	6	
	2	2	1	1	1	1	6	MAX	6	18	
9	3	3	3	-	-	-	3	推奨	3	9	
	2	2	2	1	1	1	6	MAX	6	18	
10	4	3	3	-	-	-	3	推奨	3	9	
	2	2	2	2	1	1	6	MAX	6	18	
11	4	4	3	-	-	-	3	推奨	3	9	
	2	2	2	2	2	1	6	MAX	6	18	
12	4	4	4	-	-	-	3	推奨	3	9	
	2	2	2	2	2	2	6	MAX	6	18	
13	4	3	3	3	-	-	4	推奨	4	12	
	3	2	2	2	2	2	6	MAX	6	18	
14	4	4	3	3	-	-	4	推奨	4	12	
	3	3	2	2	2	2	6	MAX	6	18	
15	4	4	4	3	-	-	4	推奨	4	12	
	3	3	3	2	2	2	6	MAX	6	18	
16	4	4	4	4	-	-	4	推奨	4	12	
	3	3	3	3	2	2	6	MAX	6	18	
17	4	4	3	3	3	-	5	推奨	5	15	
	3	3	3	3	3	2	6	MAX	6	18	
18	4	4	4	3	3	-	5	推奨	5	15	
	3	3	3	3	3	3	6	MAX	6	18	
19	4	4	4	4	3	-	5	推奨	5	15	
	4	3	3	3	3	3	6	MAX	6	18	
20	4	4	4	4	4	-	5	推奨	5	15	
	4	4	3	3	3	3	6	MAX	6	18	
21	4	4	4	4	3	3	6	MAX	6	18	
22	4	4	4	4	3	3	6	MAX	6	18	
23	4	4	4	4	4	3	6	MAX	6	18	
24	4	4	4	4	4	4	6	MAX	6	18	



# 警告

上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工する(配管破損による水漏れの原因)

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。ただし、水質によっては、機器や内部部品\*の寿命が通常より短くなる場合があります。\*タンク・減圧弁・逆止弁・熱交換器など
- 温泉水は使用しないでください。使用期間中の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保が取れず、無償保証できません。
- 水源水圧が300kPa以上確保できる場所で使用してください。(750kPaを超える地域は給水一次側に減圧弁を設けてください。)
- GE-Y553URD(高温給湯専用機種)とGE-Y553UD(混合給湯専用機種)を組み合わせて接続することはできません。
- 給湯口には、必ず給水装置の構造および材質の基準に関する省令に基づく負圧破壊性能基準に適合する機器を設置してください。また、吐水口一体型の茹麺機・食器洗浄機については、規定の吐水口空間の確保を確実に行ってください。
- 定期的(1ヵ月に1回程度)に湯を流すようにしてください。(滞留水の劣化、配管腐食防止のため)

## 各配管の制約及び施工上の注意

必ず、当社配管制約及び配管仕様・性能をご確認の上、配管やパッキンを選定してください。

配管名	耐熱温度 配管	種類	別売部品	市販品	サイズ	継手呼び径 (製品)	長さ	曲がり	保温材厚さ	施工上のお願い事項	
① ヒートポンプ配管	95℃以上	銅管	—	○	10A	R1/2	15m (※2)	5曲がり	— (※3)	●配管長5m以下10mm以上 ●配管長5~15m以下20mm以上	●更新性(更新の際に床、壁、天井などの工事を伴わず、容易に交換可能な設置)を考慮して実施ください。 ●ヒートポンプ配管は極性があります。必ず、各ユニットのA-A、B-Bを接続してください。 ●鳥居3m以下(1カ所まで)を厳守ください。 ●ゴム系の配管は使用しないでください。 ●ヒートポンプユニットの接続はできません。 ●各貯湯ユニットのヒートポンプ配管B側には同梱のメタルパッキン(黒)を必ず取り付けてください。(水漏れの原因)ユニオンアダプタ内のパッキンと入れ換えてください。二枚重ねでは使用できません。
		架橋PE管	○ (※1)	—							
② 給水配管	—	銅管	—	○	20A(注)	R3/4	—	—	10mm以上推奨	●給水配管専用止水栓(出荷時「閉」)が組み込まれています。故障や点検など、排水時に操作が必要です。必ず、取付位置をお客様にご説明ください。	
		架橋PE管	—	○	20A(注)						
		—	—	○	16A(注)						
③ 高温給湯配管 (GE-Y553URDのみ)	90℃以上	銅管	—	○	20A(注)	R3/4	—	—	10mm以上推奨	●各給湯機からの流量が毎分1L以上となるように配管施工してください。6台並列可能です。 ●複数連結で使用する場合は、配管途中に高温給湯配管専用流量調整バルブを取り付け、各貯湯ユニットからの流量が均等になるように調節してください。 ●階下給湯(天面から5m~15m)で使用する場合は、空気抜き弁を取り付けてください。	
		架橋PE管	—	○	20A(注)						
		HT管 (※4)	—	○	20A(注)						
④ 混合給湯配管 (GE-Y553UDのみ)	90℃以上	銅管	—	○	20A(注)	R3/4	—	—	10mm以上推奨	●各給湯機からの流量が毎分1L以上の場合、4台並列可能です。 ●各給湯機からの流量が毎分1Lを下回る場合はお湯が出ませんので、毎分1L以上を確保できるように接続台数を減らしてください。 ●複数連結で使用する際、配管途中に混合給湯配管専用流量調整バルブを取り付け、各貯湯ユニットからの流量が均等になるように調節してください。 ●階下給湯(天面から5m~15m)で使用する場合は、空気抜き弁を取り付けてください。	
		架橋PE管	—	○	20A(注)						
		HT管	—	○	20A(注)						
⑤ 排水配管(※5)	90℃	HT管	—	○	φ50以上	R1 1/2	—	—	—	●排水配管は、必ず下り勾配としてください。 ●口径φ80以上の排水ホッパー及び排水トラップを設置してください。 ●排水時には最大毎分40L程度排水されるため、十分排水できる工事をしてください。	
⑥ ヒートポンプユニット用 ドレン配管 (一般地のみ)	—	ドレン ホース	—	○	φ16	—	—	—	—	●ドレン配管は、必ず下り勾配としてください。 ●運転中は少量の水(最大毎分0.5L)が出ます。十分排水できる工事をしてください。 ●ドレンが凍結するおそれがある場合、ドレンシールドは取り付けないでください。	
⑦ 貯湯ユニット用 ドレン配管	—	ドレン ホース	本体 取付	—	φ14	φ18	—	—	—	●ドレン配管は、必ず下り勾配としてください。	

注.配管サイズ16A/20Aは、貯湯ユニット枝管のサイズです。複数連結で使用する際の主管、枝管のサイズは仕様書または据付工事説明書にしたがってください。

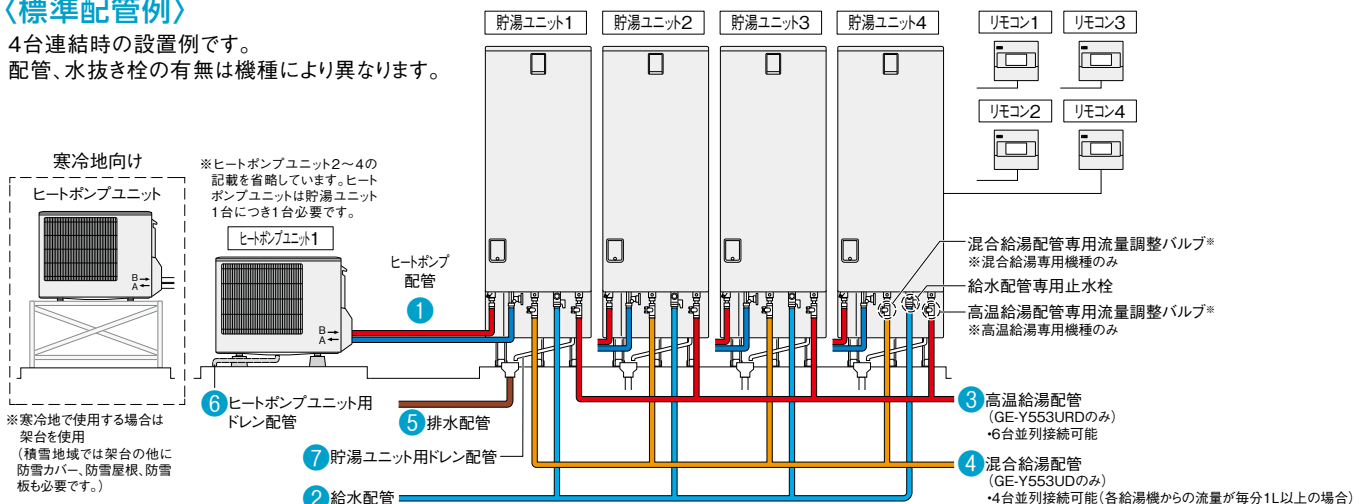
- ※1.ヒートポンプ配管の架橋ポリエチレン管は当社別売部品をご使用ください。 ※2.配管が長くなるほど、放熱は大きくなります。 ※3.エルボ継手は使用できません。
- ※4.90℃の時に耐圧320kPa以上の配管を選定してください。階下給湯で使用する場合は、高低差による圧力を考慮してください。
- ※5.本体排水口から排水配管にフレキ管で通く場合は、長さ2m2曲がり以内で、必ず下り勾配としてください。また、50mmの排水口空間を確保してください。貯湯ユニットの中に排水があふれるおそれがあります。
- ※6.配管メーカーが不明の場合は施工業者様の判断で交換をお願いいたします。

## 【お願い】

- 各配管は、つぶれや折れのないように施工してください。また、異物等が混入しないように施工してください。機器が正常に動作しない場合があります。
- 架橋ポリエチレン管、被覆材は光が当たると劣化します。屋外配管部は、必ずシーリングテープを使用し、遮光してください。
- 排水栓を操作できるように配管を施工してください。
- 湯水混合栓を使用する場合はサーモスタット付湯水混合栓(逆止弁付)を使用してください。構造により出湯量が極端に少ない場合があります。選定時は、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認してください。手元ストップ機能や、マッサージ機能付のシャワーヘッドは出湯量が少なくなります。

## 〈標準配管例〉

4台連結時の設置例です。  
配管、水抜き栓の有無は機種により異なります。







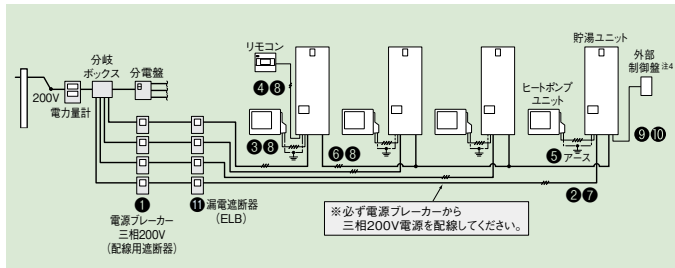
# 警告

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士\*が施工し、必ず、専用回路を使用する(火災・感電の原因) \*工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

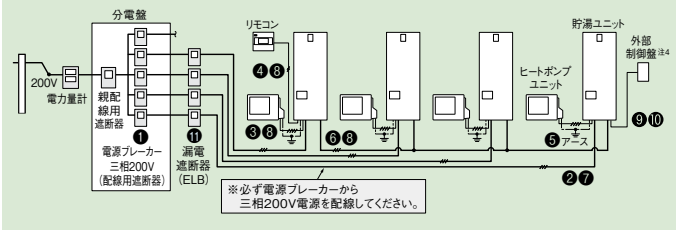
- ブレーカーの定格及び電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。
- 電力契約制度については最寄りの電力会社へお問い合わせください。
- 必ず、貯湯ユニット内のタンクを満水にしてから電源を入れてください。未満水通電による機器破損の修理は、保証の対象外です。

## 三相電源機種 形名:GE-553SUJ, GE-553SU, GE-553SUR

■電気系統接続概要図 図中の番号(①~⑩)は必要部材の番号を表しています。



電気給湯機用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合



■必要部材 表中の番号(①~⑩)は上図に対応しています。

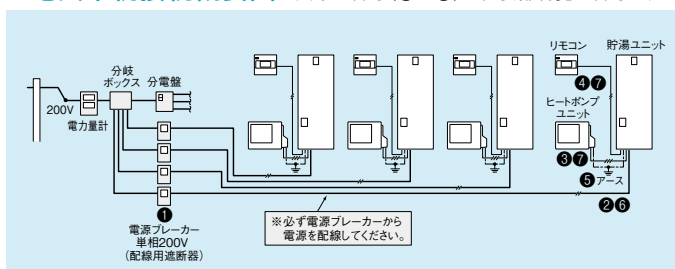
番号	名称	仕様	備考
①	電源ブレーカー(配線用遮断器)	三相200V, 20A	—
②	電源線	3芯式、3.5mm <sup>2</sup> (φ2.0)、VV線	●電源~貯湯ユニット
③	電源通信線 <sup>注1</sup>	2芯式(単線)、φ2.0、VVF線×2本	●最長30m以内・極性あり ●貯湯ユニット~ヒートポンプユニット
④	リモコン線	2芯式、0.3mm <sup>2</sup> (当社別売部品使用時)	●最長50m以内 ●貯湯ユニット~リモコン
⑤	アース線	φ1.6、IV線	—
⑥	貯湯ユニット間通信線 <sup>注1</sup>	3芯式(黒・白・赤)、0.3~1.65mm <sup>2</sup> 、67.6Ω/km以下、VCTF相当	●最長30m以内・極性あり ●貯湯ユニット~貯湯ユニット
⑦	PF管(②電源線用)	φ22	●電源~貯湯ユニット
⑧	PF管(③電源通信線用、④リモコン線用、⑥貯湯ユニット間通信線用)	φ16	●貯湯ユニット~ヒートポンプユニット ●貯湯ユニット~リモコン ●貯湯ユニット~貯湯ユニット
⑨	入力用通信線 出力用通信線	入力用:2芯式、0.3mm <sup>2</sup> 出力用:2芯式、1.25mm <sup>2</sup>	●貯湯ユニット~外部制御盤 <sup>注3 注4</sup>
⑩	PF管(⑨外部機器通信線用)	φ16	●貯湯ユニット~外部制御盤 <sup>注3</sup>
⑪	漏電遮断器(ELB) <sup>注2</sup>	仕様 30mA(定格感度電流)、0.1s以内、高調波対応形	—

リモコン線は、当社別売部品(形名:LM-620B(20m)またはLM-650B(50m))を使用してください。既設のリモコン線を使用する場合も、当社リモコンケーブル相当品(より線2芯式、導体断面積0.3~1.65mm<sup>2</sup>、絶縁体外径2mm以下、67.6Ω/km以下)としてください。

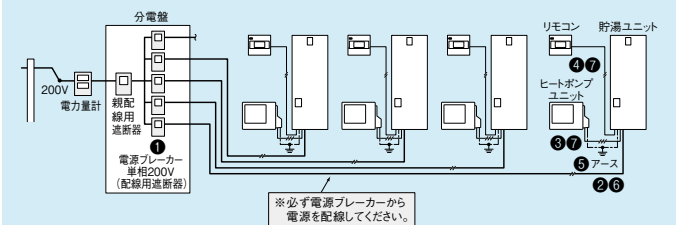
- 注1.指定した仕様以外のものは動作保証外です。
- 注2.電気用品安全法に適合したものを選定ください。
- 注3.外部制御盤を使用する場合は、外部制御盤側に漏電遮断器(定格感度電流 30mA、0.1s以内)の取り付けが必要です。
- 注4.すべての貯湯ユニットに独立した接点を各々接続する必要があります。

## 単相電源機種 形名:GE-Y553UD, GE-Y553URD

■電気系統接続概要図 図中の番号(①~⑦)は必要部材の番号を表しています。



電気給湯機用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合



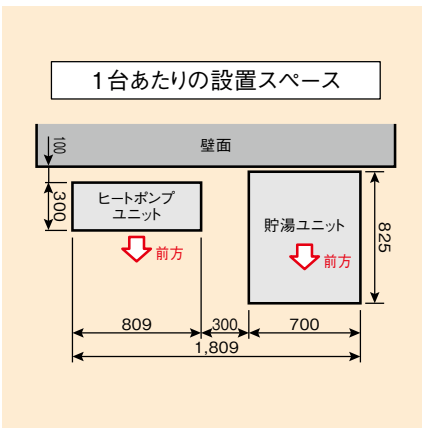
■必要部材 表中の番号(①~⑦)は上図に対応しています。

番号	名称	仕様	備考
①	電源ブレーカー(配線用遮断器)	単相200V, 20A	—
②	電源線	2芯式、3.5mm <sup>2</sup> (φ2.0)、VV線	●電源~貯湯ユニット
③	電源通信線 <sup>注1</sup>	3芯式(単線)、φ2.0、VVF線	●最長30m以内 ●貯湯ユニット~ヒートポンプユニット
④	リモコン線	2芯式、0.3mm <sup>2</sup> (当社別売部品使用時)	●最長50m以内 ●貯湯ユニット~リモコン
⑤	アース線	φ1.6、IV線	—
⑥	PF管(②電源線用)	φ22	●電源~貯湯ユニット
⑦	PF管(③電源通信線用、④リモコン線用)	φ16	●貯湯ユニット~ヒートポンプユニット ●貯湯ユニット~リモコン

リモコン線は、当社別売部品(形名:LM-620B(20m)またはLM-650B(50m))を使用してください。既設のリモコン線を使用する場合も、当社リモコンケーブル相当品(より線2芯式、導体断面積0.3~1.65mm<sup>2</sup>、絶縁体外径2mm以下、67.6Ω/km以下)としてください。

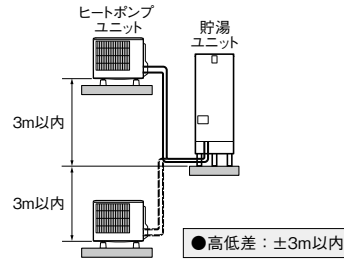
- 注1.指定した仕様以外のものは動作保証外です。

設置制約



ヒートポンプユニットと貯湯ユニット間

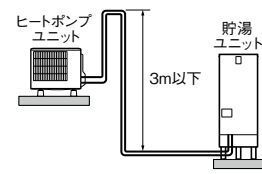
■ 高低差の制約



ヒートポンプ配管の長さど温度低下について

- タンク内湯温はヒートポンプ配管からの放熱により、わき上げ温度より低くなります。配管が長くなるほど、放熱は大きくなりますので、なるべく配管は短くすることをおすすめします。
- 耐熱保温材20mm、外気温度マイナス7℃、15mの配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5℃です。外気温度、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、タンク内湯温は、わき上げ温度よりも約10℃低下することがあります。

■ 配管の制約

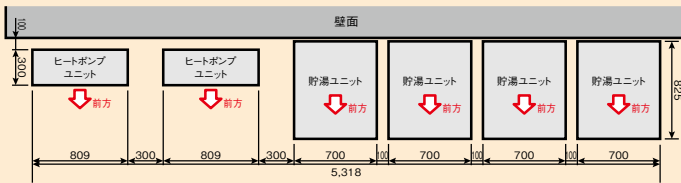


- 配管全長 : 15m以下
- 曲がり箇所 : 5ヵ所以下<sup>※1</sup>
- 鳥居高低差 : 3m以下、1ヵ所まで

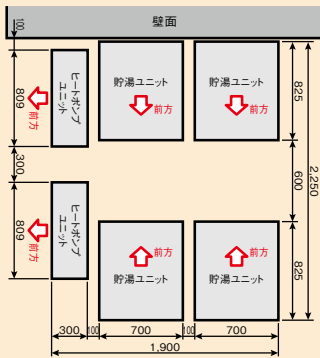
※1: 架橋ポリエチレン管使用時、エルボ継手は使用できません。

設置パターンの紹介 [ヒートポンプユニットは段積]

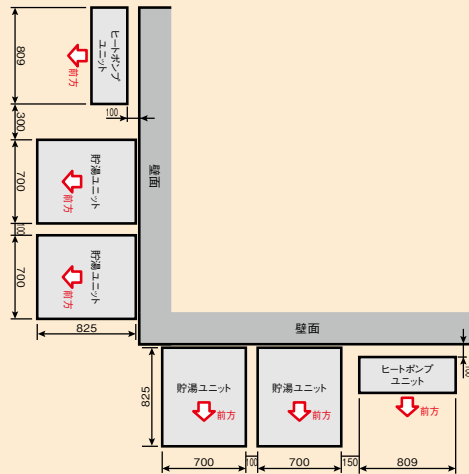
① 横並びに設置



② 正方形に設置



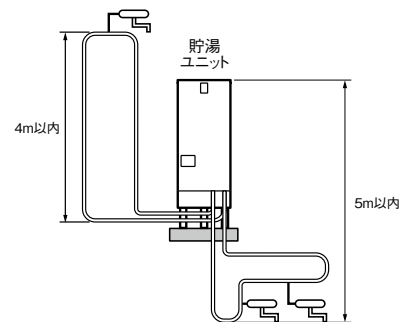
③ L字形に設置



【ご注意】

- 本図は、エコキュート設置の参考寸法です。各現場に合わせて配管等の設置スペースも考慮してください。
- 製品の前に障害物がある場合は600mmのメンテナンススペースを確保してください。
- 2階以上に据え付ける場合は、必ず天部も上部振れ止め金具で固定してください。引張荷重が4.9kN以上に耐える壁、または棧を設け、アンカーボルトは引き抜き力が2.45kN以上になる施工をしてください。地震時の転倒防止のため、必ず2個使用し本体を固定してください。

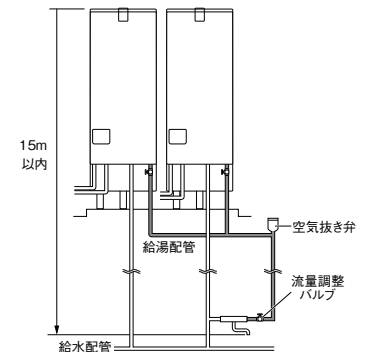
即湯配管の高低差の制約 (即湯循環機能時) (SUJ機種)



- 配管全長 : 100m以下
- 曲がり箇所 : 30ヵ所以下
- 鳥居 : 1ヵ所まで

- 即湯循環配管は上方向もしくは下方向どちらから1系統のみです。
- 地上階(1階)に設置する場合は、階上(2、3階)への給湯が可能です。即湯循環配管の高低差は4m以内です。
- 階下への給湯は貯湯ユニット天面から5mまで可能です。
- 水源水圧が低く、即湯配管に高低差がある場合には、即湯戻り配管のエアを抜きやすくするため、給水配管と即湯配管を分岐接続し、給水圧で即湯戻り配管のエアを排出してください。(分岐接続する箇所には止水栓設置)

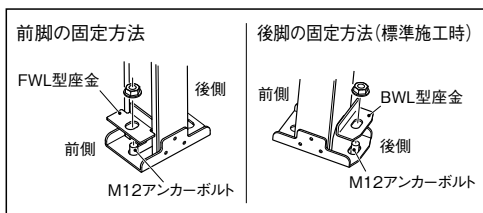
階下給湯 (SU, SUR, UD, URD機種)



- 階下給湯は15mまで可能です。15mを超えると、負圧によるタンク破損や空気の混ざった湯水が飛び散る原因になります。
- 空気の混ざったお湯が出る場合は、貯湯ユニットへの給水量が不足しています。流量調節バルブ(市販品)で、給水量と給湯量を調節してください。
- 天面から5m~15mの場合は、空気抜き弁をエアの溜まりやすい箇所に垂直に取り付けてください。

## 脚固定工事

- 地震時の転倒防止のため、必ず実施してください。
- 必ず水平に取り付けてください。
- 必ず同梱のL型座金を使用し、すべての脚をアンカーボルトで直接固定してください。  
\*同梱のL型座金はFWL型座金が1個、BWL型座金が2個。



- 1 所定の位置にM12アンカーボルトを3本施工する
- 2 前脚の前側にFWL型座金、後脚の後ろにBWL型座金を使用して、アンカーボルトに固定する

アンカーボルト(脚部固定用 形名:GZ-B1F) (寸法単位:mm)

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ <sup>※1</sup>
12	100	40	12.7	80

※1:地階および1階ならびに敷地の部分に設置時に耐震クラスBで据え付ける場合は、埋込み深さ:60mm

- 耐震クラスは、設置階、固定方法により異なります。(下表参照) アンカーボルト位置は外形寸法図(P11~12)をご確認ください。
- 詳しくは据付工事説明書を参照ください。

耐震クラス (一財)日本建築センター「建築設備耐震設計-施工指針」における「局部震度法」による表に記載の設計用水平震度(KH)に相当する荷重を貯湯ユニット<sup>※2</sup>に印加した場合<sup>※3</sup>に貯湯ユニットが転倒しないこと。

設計用水平震度(KH) (単位:G)

耐震クラス	地上階(1階)	2階以上
S	1.0	2.0
A	0.6	1.5
B	0.4	1.0

※2:貯湯ユニットは、国土交通省告示第1447号(平成25年4月1日施行)に適合した設置工事が必要です。必ず当社指定の据付工事を行ってください。

※3:[試験条件]

満水の貯湯ユニットを所定の方法にて固定し、重心位置を弱軸方向へ連続的に荷重を加え、貯湯ユニットが表に記載の設計用水平震度(KH)に相当する荷重に耐えることを確認。

固定方法	標準施工		標準施工ができない場合			
耐震クラス	地階および1階ならびに敷地の部分に設置	2階以上設置	地階および1階ならびに敷地の部分に設置	2階以上設置	地階および1階ならびに敷地の部分に設置	2階以上設置
上部振れ止め金具あり	S	A	S	A	A	B
上部振れ止め金具なし	A		S			

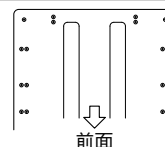
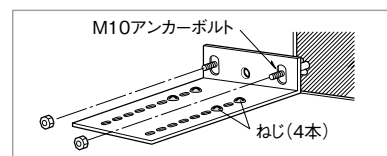
## 上部振れ止め工事

- 2階以上に据え付ける場合は、必ず天部も上部振れ止め金具(同梱部品)で固定してください。地震時の転倒防止のため必ず2個使用し、本体を固定してください。
- 引張荷重が4.9kN以上に耐える壁、または棧を設けてください。
- アンカーボルトは引き抜き力が2.45kN以上になる施工をしてください。
- アンカーボルトの下穴は下表を参照してください。

アンカーボルト(上部固定用 形名:GZ-B2F) (寸法単位:mm)

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	40

- できるだけ壁と給湯機が近づくように上部振れ止め金具を固定してください。壁と給湯機が離れていると給湯機ケースが引っ張られ、逃し弁と操作窓が接触することがあります。
- 上部振れ止め金具が必要な場合は、当社別売部品(形名:GZ-TS3)をご購入ください。



## 寒冷地での貯湯ユニット据付工事(UD、URDのみ)

- 外気温がマイナス15℃までは屋外設置できます。(積雪地域では小屋かけをして雪がかかるのを防いでください)
- 小屋の扉の上下それぞれに通気口(開口面積100cm<sup>2</sup>程度)を確保してください。必要に応じて換気扇を設けてください。



- 外気温がマイナス15℃～マイナス25℃までは貯湯ユニットは屋内設置、ヒートポンプユニットは屋外に設置してください。
- 屋内に据え付ける場合は、必ず適切な防水・排水工事をしてください。



※ヒートポンプユニットは積雪と凍結の影響がない高さに設置してください。

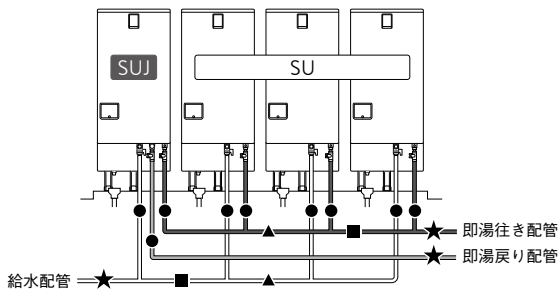
※詳細は据付工事説明書をご確認ください。

# システムの選定について

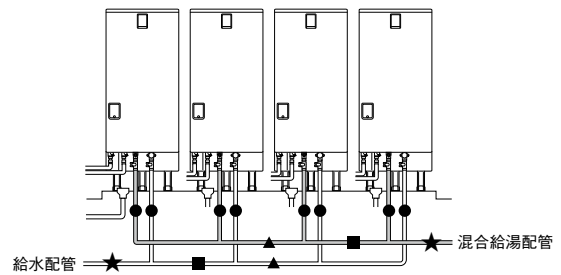
## ■複数接続時の給水配管、給湯配管(高温・混合)の配管径について

### 1 4台接続時

即湯・混合給湯機種(SUJ)+混合給湯専用機種(SU)



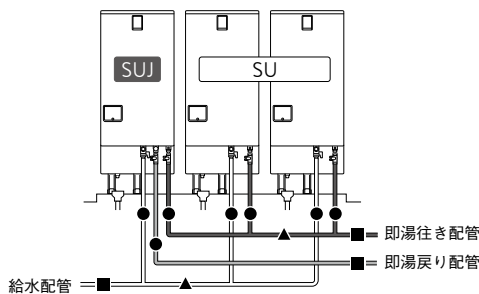
混合給湯専用機種(SU, UD)



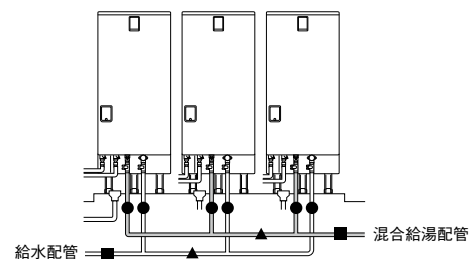
※混合給湯配管は各給湯機からの流量が1L/分以上的の場合、4台並列可能です。流量が1L/分を下回る場合はお湯が出ませんので、1L/分以上を確保できるように接続台数を減らしてください。

### 2 3台接続時

即湯・混合給湯機種(SUJ)+混合給湯専用機種(SU)



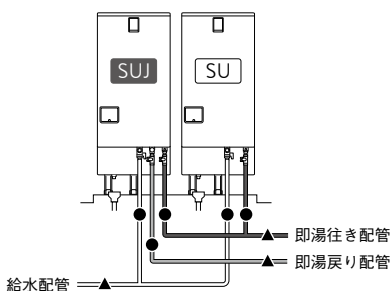
混合給湯専用機種(SU, UD)



※混合給湯配管は各給湯機からの流量が1L/分以上的の場合、4台並列可能です。流量が1L/分を下回る場合はお湯が出ませんので、1L/分以上を確保できるように接続台数を減らしてください。

### 3 2台接続時

即湯・混合給湯機種(SUJ)  
+混合給湯専用機種(SU)



### 配管表

- 使用する配管材質によって、配管径は異なります。
- 設置台数によって配管径が異なります。
  - 設置台数が6台以下の場合、すべての貯湯ユニットから同時に給湯するため、設置台数に応じて配管径が大きくなります。
  - 設置台数が7台以上の場合、各グループから1台ずつ給湯するため、グループの数に応じて配管径が大きくなります。
- ※給水配管は、給湯配管と同じ配管径を選定してください。
- 高温給湯配管は、以下を確認してください。
  - 各給湯機からの流量が毎分1L以上を確認できるように設置してください。
  - 耐熱・耐圧に優れた配管を選定してください。
- ※設置台数が7台以上の場合、1グループにつき1つ、グループ専用流量調整バルブを取り付けてください。

部位	HTLP管	HTVP管	架橋PE管	銅管
	硬質塩化ビニル/リング鋼	硬質塩化ビニル		
●	20A	20A	16A/20A	20A
▲	25A	30A	-	25A
■	32A	30A	-	32A
★	32A	40A	-	32A
◆	40A	40A	-	40A
☆	40A	40A	-	50A

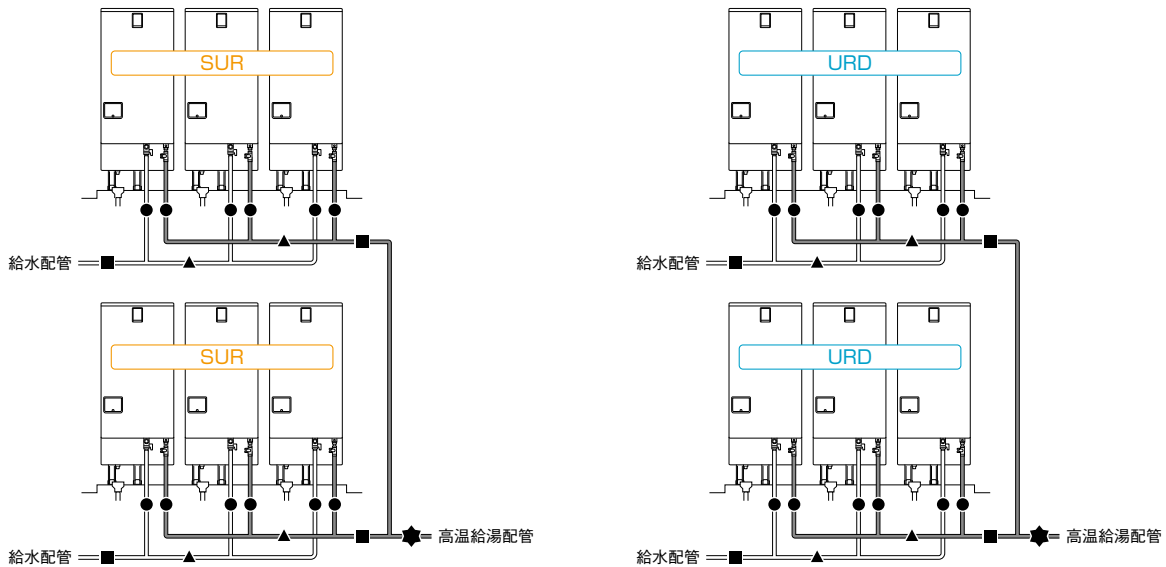
### 【配管工事のお願い】

- 即湯配管(即湯・混合給湯機種のみ)、混合給湯配管、高温給湯配管共に管の膨張収縮があります。コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用してください。埋設配管するときは管を固定しないでください。
- 各配管は、つぶれや折れのないように施工してください。また、異物等が混入しないように施工してください。機器が正常に動作しない場合があります。
- 架橋ポリエチレン管、被覆材は光が当たると劣化します。屋外配管部は、必ずシーリングテープを使用し、遮光してください。(別売部品:GT-S40B)
- 排水栓を操作できるように配管を施工してください。
- 製品入れ替え時は、各配管も入れ替えてください。配管を更新しない場合、配管が劣化し水漏れや異物等が流出する可能性があります。
- ヒートポンプ配管には逆止弁・止水栓等、流れのさまたげになるものを取り付けしないでください。
- ヒートポンプ配管はメンテナンス(更新性)を考慮して配管を選定してください。
- 水栓\*によっては水撃(ウォーターハンマー)現象がおこることがあります。水撃防止装置取付などの処置をお願いします。  
※シングルレバー式の湯水混合栓や手元ストップシャワー
- 減圧弁一次側が750kPa以下であることを確認してください。
- 配管ろう付け時は、ろう付け箇所付近のフラックスを濡れた布で拭き取ってください。
- 配管接合部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。また、接着剤硬化後に通水してください。接着剤がタンクに入ると、湯からの異臭や流量低下の原因になります。
- ねじ切り・切断などの際、配管材料に油やゴミが付着します。施工時は、必ず中性洗剤で配管材料を洗浄してください。また、キズやバリがないように面取りをしてください。
- シールテープは、ねじ部よりはみ出さないようにしてください。
- 耐熱塩ビ管(HT管など)の接着には、必ず耐熱接着剤(90℃以上)を使用してください。また、硬化後に通水してください。使用する接着剤の種類、使用量、養生時間などは接着剤の説明書にしたがってください。接着剤がタンクに入ると、お湯からの異臭や流量低下の原因になります。
- サーモスタット付湯水混合栓(逆止弁付)を使用してください。構造により出湯量が極端に少ない場合があります。選定時は、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認してください。手元ストップ機能や、マッサージ機能付のシャワーヘッドは出湯量が少なくなります。
- 太陽熱温水器との接続はできません。



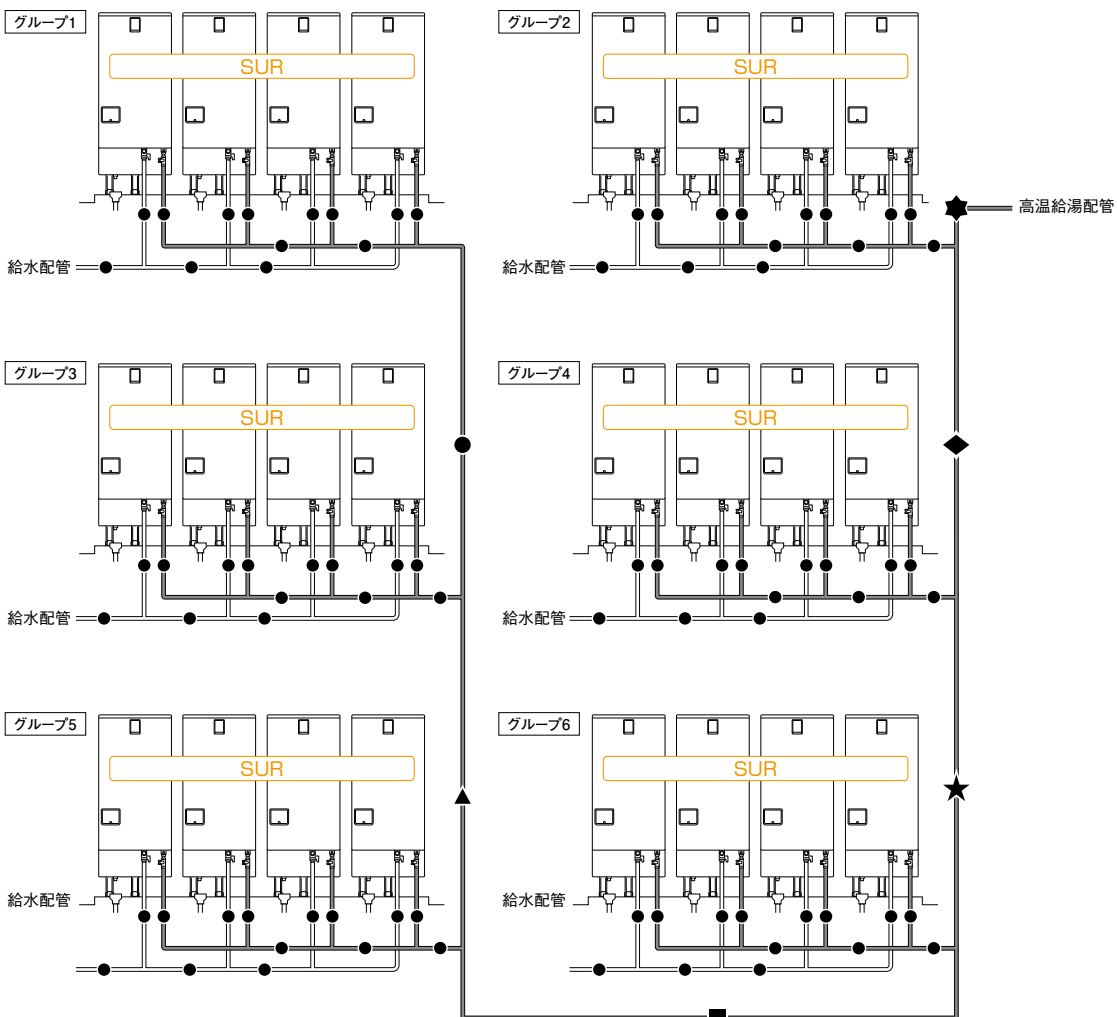
#### 4 6台連結時 SUR URD [一括自動開閉]

- \*配管途中に流量調整バルブを取り付けてください。また、各給湯機からの流量が毎分1L以上となるように配管施工してください。
- \*階下給湯(天面から5m~15m)で使用する場合は空気抜き弁を取り付けてください。
- \*高温給湯のため、耐熱・耐圧に優れた配管を選定してください。



#### 5 24台連結時 SUR [ローテーション]

- \*配管途中に流量調整バルブを取り付けてください。また、各給湯機からの流量が毎分1L以上となるように配管施工してください。
- \*設置台数が7台以上の場合は、1グループにつき1つ、グループ専用流量調整バルブを取り付けてください。また、各グループからの流量が同じ量になるように流量を調節してください。
- \*階下給湯(天面から5m~15m)で使用する場合は空気抜き弁を取り付けてください。
- \*高温給湯のため、耐熱・耐圧に優れた配管を選定してください。



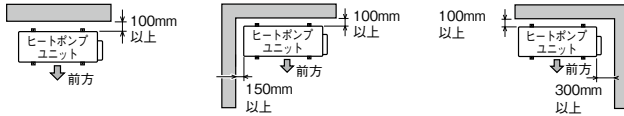
# ヒートポンプユニットの据付工事

## ヒートポンプユニット

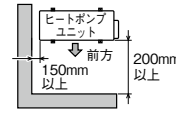
- 3方向に障害物がある場合は設置できません。ただし、金網等の風通しの良いものの場合、障害物となりません。
- 上方は開放(1m以上確保)の条件です。

### (1) 1台設置の場合

#### ■前方(吹出側)に障害物がない場合(上から見た図)



#### ■後方(吸込側)に障害物がない場合(上から見た図)



#### ■前方(吹出側)に障害物がある場合



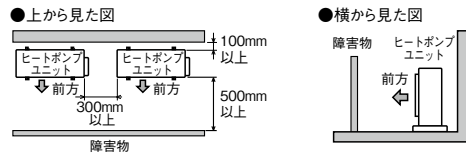
所要スペース(D1及びD2)は、障害物の高さ(H)によってわかります。風向ガイドを取り付ける場合は、下表を参照ください。ただし、設置条件によっては運転音が上がることがあります。

障害物の高さ(H)	所要スペース			
	風向ガイドなし		風向ガイドあり	
	D1	D2	D1	D2
1200mm以下	200mm以上	100mm以上	185mm以上	30mm以上
1200mm超	300mm以上	100mm以上	350mm以上	30mm以上

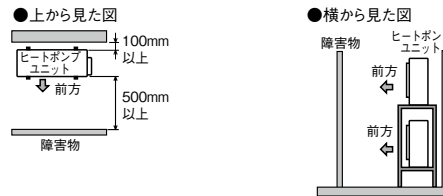
- ※壁に向けて吹き出すと、壁が汚れる場合があります。
- ※吹き出した風を再び吸い込む場合は、加熱能力が悪化する場合があります。
- 風向ガイド(当社別売部品)を取り付けると、加熱能力の改善が図れる場合があります。

### (2) 複数台設置の場合

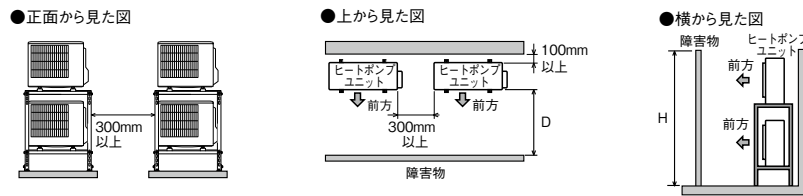
#### ■2台設置(横置きの場合)



#### ■2台設置(2段積みの場合)



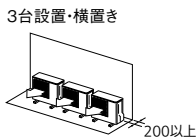
#### ■4台設置(2列2段積みの場合)



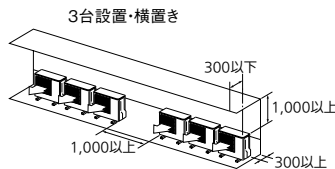
所要スペース(D)は、障害物の高さ(H)によってわかります。

障害物の高さ(H)	所要スペース(D)
1200mm以下	600mm以上
1200mm超	800mm以上

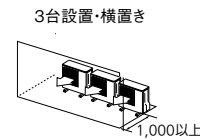
#### ■背面に障害物がある場合(正面、側面、上方は開放)



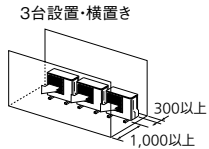
#### ■背面と上方に障害物がある場合(正面、側面は開放)



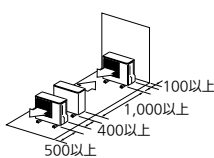
#### ■正面に障害物がある場合(背面、側面、上方は開放)



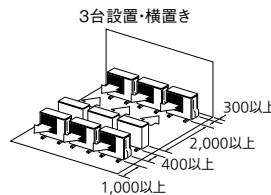
#### ■背面と正面に障害物がある場合(側面、上方は開放)



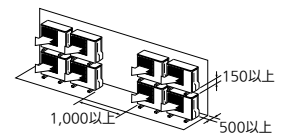
#### ■1台多列設置の場合



#### ■複数台多列設置の場合



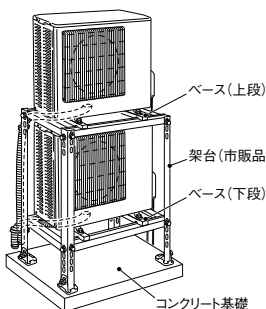
#### ■2段積み多列設置の場合



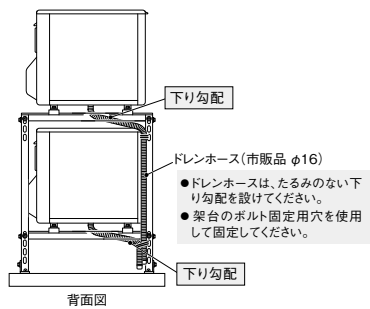
### <一般地への設置>2段積みの場合

寒冷地では、2段積み設置は行わないでください。ドレン水で下段のヒートポンプユニットが凍結するおそれがあります。

#### <据付例>

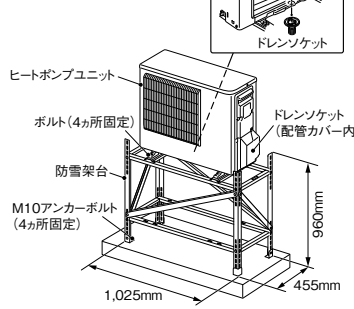


#### <ドレン方法>

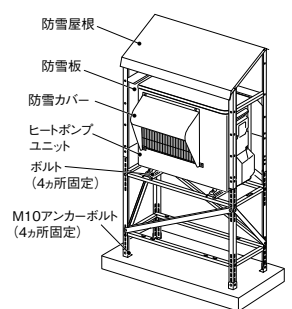


### <寒冷地への設置>

#### <据付例>



#### <積雪地域の据付例>

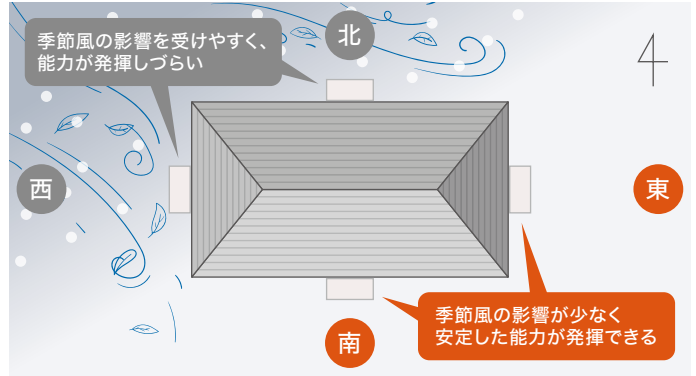


# 寒冷地でのヒートポンプユニットの据付条件

寒冷地には、一般地／寒冷地兼用モデルであるGE-Y553UD(-BSG)もしくはGE-Y553URD(-BSG)をご選定ください。

## 1 設置位置

強風に当たる場所には据え付けしないでください(除霜時間が長くなります)。特に北側や西側は季節風の影響を受けやすく能力が発揮しづらいため、季節風の当たりにくい**東側**や**南側**に設置をおすすめします。



## 2 ドレン水の排水対策

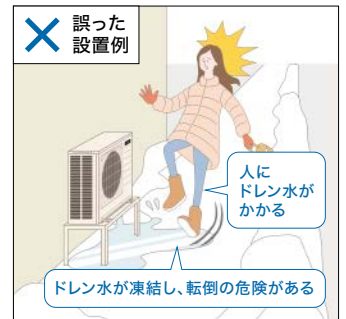
一般地向けと寒冷地向けの2つのドレンソケットが同梱されています。寒冷地では、寒冷地向けドレンソケットを使用してください。一般地向けドレンソケットとドレン配管を使用すると凍結するおそれがあります。

### 通路付近に設置する場合

ドレン水で地面が凍結しますので、人の通る場所や凍結が起こると問題のある場所への設置は避けてください。

#### 設置のポイント

- ①ドレン水凍結の成長を考慮して地面からの高さを十分とる
- ②地面に流れたドレン水が凍結しても問題のない場所を選定する



### 室外機を複数台設置する場合

室外機の2段積み設置は行わないでください。ドレン水で下段の室外機が凍結するおそれがあります。

#### 設置のポイント

- 1台ずつ横に並べる



## 3 雪対策 \*必要に応じて防雪カバーを取り付けてください

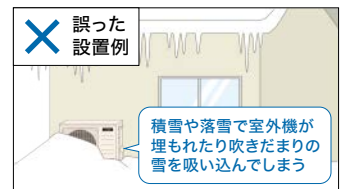
### 地上に設置する場合

積雪地域では防雪架台(高置台、防雪屋根、防雪板)<sup>\*1</sup>および防雪カバーを使用し、積雪とドレン水凍結の影響がない高さに設置してください。

\*1:寒冷地では、室外機の設置位置を高くするために使用します。室外機の2段積み設置は行わないでください。

#### 設置のポイント

- ①雪で埋もれない場所と高さ(ドレン水凍結の影響がない場所と高さ)
- ②積雪や吹きだまりの影響がない場所
- ③落雪やつらら落下の影響がない場所



# 仕様表

\*製品の仕様は改良などのため変更することがあります。

\*耐重塩害仕様は形名の末尾に「-BSG」が付きます。

形名	システム(セット)	GE-553SUJ <sup>注8</sup>	GE-553SU	GE-553SUR	GE-Y553UD	GE-Y553URD
	ヒートポンプユニット	GE-U723S			GE-UY723	
	貯湯ユニット	GE-T553SUJ	GE-T553SU	GE-T553SUR	GE-TY553UD	GE-TY553URD
仕向地		一般地			一般地/寒冷地	
使用場所	ヒートポンプユニット	屋外専用			屋外専用	
	貯湯ユニット	屋外用			屋内用/屋外用	
設置可能最低外気温度	ヒートポンプユニット	マイナス10℃			マイナス25℃	
	貯湯ユニット	マイナス10℃			マイナス15℃	
設置可能最高外気温度	ヒートポンプユニット	43℃			43℃	
	貯湯ユニット	43℃			43℃	
タンク容量		550L			550L	
定格電圧(定格周波数)		三相200V(50-60Hz共用)			単相200V(50-60Hz共用)	
外形寸法	ヒートポンプユニット	高さ715mm×幅809(+65*)mm×奥行300(+16)mm ※配管カバー寸法			高さ715mm×幅800(+65*)mm×奥行285(+16)mm ※配管カバー寸法	
	貯湯ユニット	高さ2100mm×幅700mm×奥行825mm			高さ2100mm×幅700mm×奥行825mm	
質量	ヒートポンプユニット	53kg			50kg	
	貯湯ユニット(満水時)	78kg(628kg)	77kg(627kg)		76kg(626kg)	77kg(627kg)
運転音(中間期標準 <sup>※3</sup> /冬期標準 <sup>※5</sup> /冬期高温 <sup>※9</sup> ) <sup>※12</sup> <sup>※13</sup>		44dB/47dB/47dB			46dB/48dB/49dB	
標準貯湯加熱	中間期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※2</sup> <sup>※3</sup> <sup>※7</sup>	7.20kW/1.67kW			7.20kW/1.69kW	
	夏期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※2</sup> <sup>※4</sup> <sup>※8</sup>	6.00kW/1.22kW			6.00kW/1.28kW	
	冬期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※1</sup> <sup>※2</sup> <sup>※5</sup> <sup>※9</sup>	7.20kW/1.80kW			7.20kW/1.79kW	
	着霜期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※1</sup> <sup>※2</sup> <sup>※6</sup> <sup>※10</sup>	5.30kW/2.20kW			5.30kW/2.03kW	
	寒冷地冬期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※1</sup> <sup>※2</sup> <sup>※14</sup>	—			6.40kW/2.80kW	
高温貯湯加熱	中間期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※2</sup> <sup>※7</sup>	6.10kW/1.95kW			7.10kW/2.20kW	
	夏期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※2</sup> <sup>※8</sup>	5.00kW/1.45kW			5.50kW/1.60kW	
	冬期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※1</sup> <sup>※2</sup> <sup>※9</sup>	7.20kW/2.40kW			7.20kW/2.40kW	
	着霜期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※1</sup> <sup>※2</sup> <sup>※10</sup>	6.00kW/2.50kW			6.00kW/2.50kW	
	寒冷地冬期加熱能力/消費電力 <sup>注2</sup> <sup>※1</sup> <sup>※2</sup> <sup>※15</sup>	—			7.20kW/3.30kW	
年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率 一般地/寒冷地 <sup>注1</sup> <sup>注10</sup>		4.0			4.0/3.2	
コンプレッサ出力		1.3kW			1.6kW	
ファンモータ出力		0.050kW			0.050kW	
力率(ヒートポンプユニット)		85%			88%	
冷媒名/封入量		CO <sub>2</sub> (R744)/1.15kg			CO <sub>2</sub> (R744)/1.10kg	
設計圧力		高圧:14MPa/低圧:8.5MPa			高圧:14MPa/低圧:8.5MPa	
消費電力(貯湯ユニットのみ)	制御用	0.010kW			0.006kW	
	凍結防止ヒータ	0.024kW	0.036kW		0.048kW	
最大電流		12A			20A	
沸上げ温度範囲		約65℃~約85℃ <sup>注5</sup>			約65℃~約85℃	
給湯温度	高温給湯側	—	—	約65℃~約85℃	—	約65℃~約85℃
	混合給湯側	60℃ <sup>注4</sup>	35℃~48℃(1℃刻み)、50℃、60℃ <sup>注4</sup>		35℃~48℃(1℃刻み)、50℃、60℃	—
タンク最高使用圧力		320kPa(過し弁圧力)			320kPa(過し弁圧力)	
通常使用圧力		290kPa(減圧弁圧力)			290kPa(減圧弁圧力)	
タンク保温性能 <sup>※11</sup>		2.8℃低下/10時間			2.8℃低下/10時間	
給湯配管接続可能数	高温給湯側	—	—	24台 <sup>注7</sup> <sup>注9</sup>	—	6台 <sup>注9</sup>
	混合給湯側	1台(+SU3台) <sup>注3</sup>	4台 <sup>注3</sup>		4台 <sup>注3</sup>	—
安全装置		電流動作形漏電遮断器、缶体保護弁			電流動作形漏電遮断器、缶体保護弁	
給水器具認証書番号		W009-20020-057			W009-20020-057	
給水器具認証型番		GE-553SJ	GE-553S	GE-553SR	GE-553	GE-553R

※1: 低外気温度は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※2: 沸上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。

※3: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、沸上げ温度65℃

※4: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)25℃/21℃、水温24℃、沸上げ温度65℃

※5: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度65℃

※6: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸上げ温度65℃

※7: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、沸上げ温度85℃

※8: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)25℃/21℃、水温24℃、沸上げ温度85℃

※9: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度85℃

※10: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸上げ温度85℃

※11: 作動条件:貯湯ユニット周囲温度20℃、水温15℃、沸上げ温度65℃

※12: 運転音はJRA4060:2018規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。

※13: 複数の台設置の場合、表示値よりも大きくなります。

※14: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)-7℃/8℃、水温5℃、沸上げ温度65℃

※15: 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)-7℃/8℃、水温5℃、沸上げ温度85℃

- 三相機種の組合せ制約 ●即湯循環の場合は、GE-553SUJ1台に対してGE-553SUを3台まで接続可能です。  
 ●グループ内での接続の際、GE-553SUJを即湯向き配管の最も上流側に配置してください。GE-553SUJを2台以上連結することはできません。  
 ●即湯循環を用いない混合給湯の場合は、GE-553SUを4台まで接続可能です。 ●GE-553SURはGE-553SUR以外と連結できません。

注1. 1年を通して一定量のお湯を使用するものとして運転した場合の消費電力量1kWhあたりの加熱量を表したものです。年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率=年間標準貯湯加熱量÷年間標準貯湯加熱消費電力量。寒冷地年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率=寒冷地年間標準貯湯加熱量÷寒冷地年間標準貯湯加熱消費電力量 注2. 消費電力および消費効率にポンプは含まれていません。  
 注3. 各給湯機からの流量が1L/分以上の場合。1L/分を下回る場合はお湯が出ませんので、1L/分以上を確保できるように接続台数を減らしてください。 注4. 即湯循環機能をご使用の場合、建築物環境衛生管理基準にしたがい、給湯温度を35℃~48℃(1℃刻み)、50℃に設定するときは、湯水混合栓の遊離残留塩素検査を定期的実施する必要があります。検査方法などは保健所などに相談ください。  
 注5. 即湯運転設定中は、約75℃~約85℃になります。 注6. 電力契約については最寄りの電力会社へお問い合わせください。この給湯機は「通電制御型夜間蓄熱式機器」ではありません。 注7. 1台のリモコンで1グループ4台まで接続できます。グループは最大6グループまで接続できます。設置台数が7台以上になる場合には、ローテーション制御を使用してください。 注8. GE-553SUJは即湯循環対応機種です。即湯運転に必要な「循環ポンプ」や「ミキシングバルブ」、「逆止弁」を本体に内蔵しています。 注9. 各給湯機からの流量が1L/分以上を確保できるように設置してください。 注10. 1年を通して一定量のお湯を使用するものとして運転した場合の消費電力量1kWhあたりの加熱量を表したものです。

## 水質について

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。ただし水質によっては機器や内部部品(タンク・減圧弁・過し弁・熱交換器など)の寿命が通常より短くなる場合があります。
  - 温泉水は使用しないでください。使用期間中の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保がとれず、無償保証できません。
  - 上記に適合した水であっても、給湯機の使用適合可否を判断するため、必ず当社規定の水質基準であることを確認してください。当社規定外の水質の場合、水質(スケール付着・腐食など)を起因とした不具合について無償保証できません。
- ※当社規定の水質基準につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。



# 施工上の注意

## 1 搬送～開梱

- 水ぬれ厳禁(屋内で立てて保管)(ダンボール梱包)
- 作業現場での運搬はユニックなどによる吊り上げを基本とし、人のみの少人数による運搬は避けてください。(やむを得ず人のみの場合は、肩かけバンドなどの運搬用機材を使用してください。また、ハンドル部での吊り上げはしないでください)
- ヒートポンプユニットを運搬する際、フィンなどの膝あて等にご注意ください。
- 屋外で開梱する場合は、風が当たらない安定した場所に仮置きしてください。強風によって製品が転倒し、故障、事故、ケースの変形の原因になります。

## 2 工事上の注意 全般

- 据付工事説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、当社指定部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。
- 工事後は、取扱説明書、据付工事説明書、保証書をお使いになるお客さまにお渡しし、保管していただくよう依頼してください。

## 3 据付場所の選定

- ガス配や引火物の近くには据え付けしないでください。発火・火災になることがあります。
- 機器の性能や保守点検のため「据付場所の制約」のスペースを確保してください。(また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように側面のスペースも考慮してください)
- 配管による放熱口を少なくするため、できるだけ給湯場所に近しい所へ据え付けてください。
- 船舶・車両へ搭載する、振動や揺れにより機器が故障するおそれがありますので、据え付けしないでください。
- 以下の場所には設置しないでください。
  - 温泉地帯など特殊な場所
  - みずたまりができて、水につかる場所(感電を防ぐ)
  - 運転音や振動が気になる場所
  - 水平でない場所、不安定な場所
  - 階段・非常口などの付近で、避難の支障となる場所
  - 排水のしにくい場所
  - 油分の付着しやすい場所(キッチンなど)

### 貯湯ユニット

- 積雪地域で屋外に据え付ける場合は、小屋がけをして雪がかかるのを防いでください。
- 浴室など湿度の多い所には据え付けしないでください。

### ヒートポンプユニット

- ヒートポンプユニットは屋内に据え付けしないでください。
- ヒートポンプユニットは通気性の良い場所に据え付けてください。
- ヒートポンプユニットは置き上げ中および凍結防止運転中に運転音、振動が発生します。据付場所の状態、運転音は大きくなります。また、置き上げ中は冷風がですので、寝室の近くやご近所の迷惑になる場所への据え付けは避けてください。また、各地区の騒音規制等に関する条例に従って設置してください。
- 運転音は実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなります。複数台設置の場合、表示値よりも大きくなります。
- ヒートポンプユニットは強風に当たらない場所を選定してください。(風が当たると除霜時間が長くなります)
- 積雪地区へ据え付ける場合は、ヒートポンプユニットは置台の上に据え付けるなど、降雪・除雪による雪が空気吸込口・吹出口に入らないよう、防雪カバー(当社別売部品)を据付位置に固定する前に取り付けてください。また、防雪屋根を設置して雪が積もらないようにしてください。(屋根からの落雪による破損、水柱防止)
- ヒートポンプユニットはテレビ・ラジオのアンテナより3m以上離してください。(テレビ・ラジオに映像のみだれや雑音が生ずることがあります)
- 置き上げ時、結露した水がヒートポンプユニットのドレン口から排水されますので、排水ができてところに据え付けてください。

## 4 製品の据付地域

### 一般地向けに関する注意事項

- 外気温がマイナス10℃を下回る地域へは据え付けしないでください。

### 寒冷地向けに関する注意事項

- 外気温がマイナス25℃を下回る極寒地では、凍結により機器が故障するおそれがありますので、使用できません。
- 外気温がマイナス15℃を下回る地域では、必ず貯湯ユニットを屋内に設置し、エマージェンシーストップ機能付き機種をお選びください。

## 5 据付工事

### 貯湯ユニット

- 脚は必ずアンカーボルトで固定してください。
- 基礎は満水時の質量に十分耐えるように施工してください。また本体設置面は水平かつ水はけ良く施工してください。
- 2階以上に据え付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定してください。

### ヒートポンプユニット

- ユニットの脚は必ず簡易基礎(市販品)や架台を使用して水平に据え付けてください。

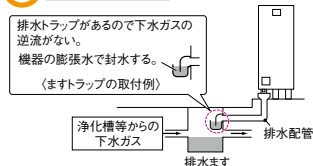
### 寒冷地向けヒートポンプユニット

- 脚は必ず架台に固定し、雪入り対策をしてください。また、架台は基礎に固定してください。

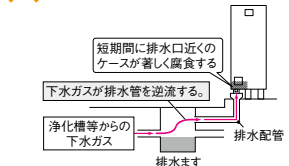
## 6 配管工事

- 上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)の指定の給水装置工事業者が指定した配管材料を使用して施工してください。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。ただし水質によっては機器や内部部品(タンク・減圧弁・逃し弁・熱交換器など)の寿命が通常より短くなる場合があります。
- 高温給湯配管は耐熱、耐圧に優れた配管を選定してください。
- 温泉水は使用しないでください。使用期間中の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保がとれず、無償保証できません。
- 上記に適合した水であっても、給湯機の使用可否を判断するため、必ず当社規定の水質基準であることを確認してください。当社規定外の水質の場合、水質(スケール付着・腐食など)を起因とした不具合について無償保証できません。
- 水源水圧が300kPa以上確保できる場所で使用してください。(750kPaをこえる地域は給水一次側に減圧弁を設けてください)
- 排水配管には必ず排水トラップを設置してください。排水トラップがないと下水ガスが逆流して給湯機が著しく腐食し、故障します。(排水トラップは耐熱性のある部材、接着剤をご使用ください)
- 太陽熱温水器との接続はできません。
- 規定外の組み合わせ、または他の給湯機との単純接続は出来ません。
- 本体内部減圧弁からの2次給水はできません。
- 排水口の下部には必ず排水ホッパー(口径φ80以上の排水ホッパーや排水トラップ)を設けてください。(1台あたり最大40L程度排水されますので、十分排水できる排水工事をしてください)
- 給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。
- ヒートポンプ配管には止水栓を取り付けしないでください。
- 給湯機の入れ替え時はヒートポンプ配管も入れ替えてください。

### 腐食が発生しない 正しい施工例



### 腐食が発生する 誤った施工例



## 7 階上(2,3階)給湯時の注意事項

- 貯湯ユニット設置階上の階に給湯するときは、階高さによる流量調整が必要です。市販の流量調整バルブまたは流量絞り弁を取り付けてください。
- 3階でシャワー、洗濯洗面化粧台が使用できます。

## 8 階下給湯時の注意事項

- 貯湯ユニット天面と湯水混合栓の高低差は即湯・混合給湯機種(SUJ)は5m以内、それ以外の機種は15m以内としてください。規定の長さを超えると負圧によるタンク破損や空気の混じった湯水が飛び散る原因になります。空気の混じったお湯が出る場合は、貯湯ユニットへの給水量が不足しています。給湯配管の途中に市販の流量調整バルブを取り付け、給水量と給湯量を調整してください。
- 階下給湯(天面から5m～15m)で使用する場合、空気抜き弁を取り付けてください。

## 9 凍結防止工事・保温工事のお願い

- 保温工事があっても、周囲温度が0℃以下になると配管は凍結するため、機器内の部品や配管が破損し、水漏れとなる場合があります。下記にて推奨の凍結防止対策を行ってください。凍結による機器破損の修理は、保証の対象外です。
- 配管工事後、配管接続部での水漏れの有無を点検してから、凍結防止工事をしてください。

### 凍結防止ヒーターを外部配管に設置する方法

- 外気温を検出するタイプは温度計検出のおそれがありますので、配管の温度を直接検出するタイプのものを使用してください。
- 配管用の自動温度調節器(サーモスタット)のあるものを使用する場合は、確実に配管に取り付けてください。[市販品の一例:東京特殊電線 NFオートヒーター(自己温度制御タイプ) 樹脂配管使用時は、樹脂管の材質を確認して適切な仕様のもをご使用ください。]

- 凍結防止ヒーターの電源接続部に水がかからないようにしてください。凍結防止ヒーターの施工についての詳細は、凍結防止ヒーターに同梱の説明書に従ってください。(火災、感電を防ぐ)
- 試運転終了後、すぐに給湯機をご使用にならない場合は、取扱説明書にしたいが、タンク内および配管内の水を必ず抜いてください。

## 10 湯水混合栓について

- シャワー給湯栓はサーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。
- シャワー給湯栓にシングルレバー混合栓や、手元ストップシャワー、マッサージシャワー等のシャワーヘッドを使用すると出湯量が少なくなることがあります。
- シングルレバー式の湯水混合栓や手元ストップシャワーを使用する際、水撃(ウォーターハンマー)現象が発生する場合は、水撃防止装置取付などの処置をお願いします。
- 湯水混合栓は、必ず逃し弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない湯水混合栓を使用した場合や湯水混合栓が故障した場合は、置き上げ中以外に逃し弁より排水される場合があります。

## 11 電気工事

- 電気設備に関する技術基準および内線規程に従って第二種電気工事士が施工し、必ず専用回路を使用してください。
- ブレーカーの定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。
- 小型業務用エココンの電力契約は、電力会社へお問い合わせください。
- 保護アース(接地)工事は万が一の感電事故防止のため、電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき、第二種電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
- アース線は、水道管、ガス管への接地、および他の機器の接地との共用はできません。また、避雷針の接地と2m以上離してください。
- パテ(三相機種:市販品、単相機種:同梱)で貯湯ユニットの電源ケーブル口や下部四隅をふさいでください。虫や蒸気などが侵入し被害を及ぼすことがあります。
- ※工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

## 12 リモコン工事

- 給湯機はリモコンを接続しないと動作しません。必ずリモコンを接続して使用してください。

リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。

## 13 貯湯ユニット間通信線・リモコン線工事

- 貯湯ユニット間通信線・リモコン線は電源線と離して(約50mm)配線してください。近いとノイズによる誤動作の原因になります。
- 電源線と貯湯ユニット間通信線・リモコン線を同一PF管内で配線しないでください。リモコンが誤動作する場合があります。

## 14 流量の目安

### サーモスタット付き湯水混合栓からの出湯量の目安

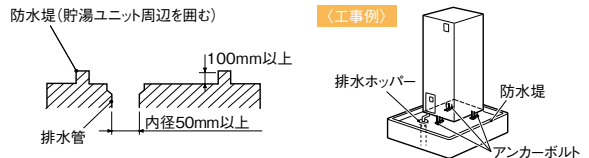
	出湯量(1F単独)	出湯量(2F単独)	出湯量(3F単独)
ハイパワー給湯タイプ(減圧弁圧力290kPa)	約15～17L/分	約13～15L/分	約12～14L/分

条件:水源水圧300kPa、配管径20A、給水温度15℃、混合水栓からの出湯温度42℃の場合。

- 現地の配管施工上の条件や湯水混合栓等の使用状況などにより、多少ばらつきが出ることがあります。

## 15 屋内へ設置する場合

- 機種選定に当たっては、エマージェンシーストップ機能付き(形名にDが入っている機種)の機種をお選びください。(万が一の水漏れ発生時に、より大きな被害をおよぼすことがあります。)
- 据付工事説明書にしたがって基礎工事を行い、脚をアンカーボルトで固定してください。
- 2階以上に設置する場合は必ず上部振れ止め金具を用いて施工してください。
- 長期間ご使用になった給湯機は水漏れを起こすおそれがあります。住居内へ設置の場合、万一、逃し弁や減圧弁から水漏れが生じた場合でも排水できるよう、下図のような床面の防水、排水工事をしてください。(階下、床下への漏水浸入防止)



- 排水配管は耐熱性を考慮し、HT管(耐熱性硬質塩化ビニル管)や銅管を使用してください。また、内径は50mm以上とし、本体の排水口が排水ホッパーの中央に来るようにしてください。
- 屋内配管の場合は配管のメンテナンス(更新性\*)を考慮してください。
- \*更新の際に床、壁、天井などの工事を伴わない設置(例:貯湯ユニットとヒートポンプユニットの近接設置)更新性につきましては、販売店・工事店様に判断をお願いいたします。

### 屋内小空間へ設置する場合

- 膨張水によって、給湯機の下部や小空間の壁などに結露して、給湯機が故障したり、壁が吸水して落ちることがあります。結露対策として、必ず以下の事項を行ってください。
- 排水ホッパーは給湯機の真下に来ないようにしてください。(脚部カバーは使用しないでください。)
- 必要に応じて室内に換気扇等を設けて、室内の湿気を排除してください。

## 16 その他の注意事項

- 初回使用時に、給湯口から汚れが出ることがあります。ご使用前に水栓の開閉を繰り返し、排水をしてください。

# ヒアリングシート

機種選定を行うために、下記項目をご確認お願いいたします。

記入日: 年 月 日

## ▼全てのお客様(新築導入・既築買い替え)

### ステップ 1 機種選定を実施するための情報を教えてください。

ご納入先名						<input type="checkbox"/> 新築 ・ <input type="checkbox"/> 改築 ・ <input type="checkbox"/> 改修
所在地 <b>必須</b>						
建物構造	地上( )階 ・ 地下( )階			延床面積( )m <sup>3</sup>		
給湯機設置階	設置階( )階 ・ 使用階( )階 *1 <small>*1:複数階ある場合は、それぞれ教えてください。</small>					
即湯循環の有無 <b>必須</b> <small>*総配管長は100mまで</small>	<input type="checkbox"/> あり[配管長( )m*2 ・ 循環時間( )時～( )時] <input type="checkbox"/> なし <small>*2:循環配管のみ、分岐配管の長さは除く。</small>					
給湯設備の使用量と使用時間 (1日あたり) <b>必須</b> <small>*給湯機1台から同時にご使用いただける給湯箇所は3ヶ所が目安(シャワーは2ヶ所まで)です。</small>	給湯設備	給湯温度	使用量 湯量情報(原単位)	時間帯	不明時の使用量 (参考値)	使用階
	浴槽	( )°C	( )L ( )人 ( )回湯はり	( )時～( )時	一般浴槽 200L 特殊浴槽 550L	( )階
	シャワー	( )°C	( )L/人×( )人 同時給湯( )ヶ所	( )時～( )時	100L(男) 120L(女)	( )階
	シャワー(理美容)	( )°C	( )L/人×( )人 同時使用( )ヶ所	( )時～( )時	50L(男) 60L(女)	( )階
	洗面	( )°C	( )L/人×( )人 同時使用( )ヶ所	( )時～( )時	10L	( )階
	厨房(カラン)	( )°C	( )L/食×( )人 同時使用( )ヶ所	( )時～( )時	10L/食(60°C)	( )階
	厨房(食洗機)	( )°C	( )L/食×( )人 同時使用( )台	( )時～( )時	5L/食(60°C)	( )階
		( )°C	( )L/ ×( )	( )時～( )時		( )階
		( )°C	( )L/ ×( )	( )時～( )時		( )階
		( )°C	( )L/ ×( )	( )時～( )時		( )階
水源	<input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 井戸水(*水道水質基準を満たすもの)					

### ステップ 2 以下を参考に図面や機器の写真を添付してください。 写真・図面の情報はメール送付でも結構です。その際は、当社営業担当まで送付ください。

[添付参考例] \*番号は優先順位です。

<b>1</b> 新規、買い替え共に  給排水衛生設備図面 <small>PDF可。設備が分かる方がシミュレーションの精度が上がります。</small>	<b>2</b> 買い替えの場合  製品正面の全体写真 <small>設置スペースと機器の位置関係を確認します。</small>	<b>3</b> 買い替えの場合  製品銘板 <small>品番が分からない場合のサポート情報です。</small>	<b>4</b> 買い替えの場合  配管部分写真 <small>施工面での課題があれば併せてご提案させていただきます。</small>
--	--	---	---

ご連絡いただいた内容を基にシミュレーションを行います。追ってご連絡をさせていただきます。ご連絡までには5～7営業日をいただいておりますので、お急ぎの方はその旨お伝えください。また、情報が不足している場合にはこちらからご連絡差し上げる事がございます。ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。

### 水質について



- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。ただし水質によっては機器や内部部品(タンク・減圧弁・逃し弁・熱交換器など)の寿命が通常より短くなる事が有ります。
- 温泉水は使用しないでください。使用期間中の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保がとれず、無償保証できません。
- 上記に適合した水であっても、給湯機の使用適合可否を判断するため、必ず当社規定の水質基準であることを確認してください。当社規定外の水質の場合、水質(スケール付着・腐食など)を起因とした不具合について無償保証できません。  
\*当社規定の水質基準につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。





三菱 [小型業務用] エコキュートは、1年保証です。



安全に関する  
ご注意

- アースを確実に取ってください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース工事は必ず販売店に依頼してください。
- 給湯機の近くにガス類や引火物を置かないでください。発火することがあります。
- 漏電遮断器の動作を確認してください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- 凍結防止対策を行ってください。凍結するとタンク、配管が破裂してやけどすることがあります。
- 足をアンカーボルトで固定してください。2階以上に据え付ける場合は必ず、上部振れ止め金具で固定してください。本体が倒れてけがをすることがあります。
- 床面が防水、排水処理されているか確認してください。
- 漏水発生により、大きな被害につながるおそれがあります。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 設置は据付工事説明書にしたがって質量に耐える所に確実に行ってください。設置が不完全な場合は、感電、火災、本体落下によるけが、水漏れの原因になります。設置は必ず販売店に依頼してください。
- そのまま飲用しないでください。長期間のご使用によってタンク内に水かたまり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、直ちに点検の依頼を行ってください。

愛情点検



★長年ご使用の電気給湯機の点検を！ ●電気給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後、10年です。

ご使用の際  
このようなことは  
ありませんか

- 設置場所が濡れている。
- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなる。
- 時々漏電遮断器がはたらく。
- コゲくさい臭いがする。
- 運転中に異常な音がある。
- その他の異常、故障がある。

ご使用中  
止

故障や事故防止のため、電源のブレーカーを切り給湯機専用止水栓を閉じてから据付工事店にご連絡ください。点検・修理に要する費用等は販売店にご相談ください。

お支払いは  
三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社をご利用ください。  
便利な分割払いで快適な生活設計を…  
クレジット(分割払い)・ボーナス払い(リボ払い)のご相談は当店どうぞ。

保証書は必ずお受け取りください。  
この商品には保証書がついています。購入時は、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保存してください。購入店名、購入日付の記載がない保証書は、無効になりますのでご注意ください。

保証書

三菱電機もしくは当社販売会社と誤認させて、電話勧誘したり、お客様の意思に反して強引に販売する業者にご注意ください。  
訪問販売や電話勧誘販売は消費者保護を目的とした法律\*の適用を受けます。  
※特定商取引法(旧訪問販売法)・消費者契約法(消費者と事業者が結んだ契約全てが対象です。)

ガス機器から電気機器へ変更をする際(ガス給湯器から電気温水器やエコキュートへの取替など)は、事前にガス事業者への連絡が必要になります。  
ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されておりますのでご注意ください。

●商品の定格、仕様は改良などのため一部変更することがありますのでご了承願います。●このカタログの内容についてのお問合せは販売店にご相談ください。もし販売店でおわかりにならないときは当社におたずねください。●各機種の価格の中には水道・電気工事費などは含まれておりません。●印刷の色は実際の商品と多少異なることがありますのでご了承願います。●本カタログに記載の製品は、日本国内用ですので、日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。●Products in this catalog are designed for use in Japan only. Servicing is not available outside of Japan.

暮らしと設備の業務支援サイト  
WIN2K



製品のカatalog・技術情報等はこちら  
www.MitsubishiElectric.co.jp/wink

三菱電機WIN2K

検索

# シェアをシェアしよう。

ひとりのシェアを家族やまわりの人たちとわかちあえば、この社会も、地球の未来も、もっとシェアになれるはず。  
私たちは、誰もが自分らしい100年を生きるライフソリューションを次々とお届けしていきます。

製品の仕様・施工に関するお問い合わせは

## 三菱 給湯機テクニカルセンター

全国どこからでも おかけいただけるフリーダイヤル

フリーダイヤル **0120-24-4126** (通話料金無料)

(受付時間)  
9:30~12:00/13:00~17:00(土日祝日、当社休業日除く)

携帯電話・IP電話の場合 **0276-40-7191** (有料)

製品の販売に関するお問い合わせは

## 三菱電機住環境システムズ(株)

三菱電機住環境システムズ(株)	東北支社	〒983-0045	仙台市宮城野区宮城野1丁目12-1 いちご仙台イーストビル	(022)742-3019
	関東支社	〒331-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町3-297-2 杉ビル6	(048)651-3227
	東京支社	〒110-0014	東京都台東区北上野1-8-1	(03)3847-4162
	中部支社	〒453-6121	名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート21F	(052)527-2070
	北陸統括支店	〒920-0811	金沢市小坂町西81	(076)252-1151
	関西支社	〒564-0063	吹田市江坂町2-7-8	(06)6338-7461
	中四国支社	〒730-0022	広島市中区銀山町3-1 ひろしまハイビル21	(082)504-7361
	営業本部(四国)	〒761-1705	高松市香川町川東下717-1	(087)879-1530
	九州支社	〒812-0007	福岡市博多区東比恵3-9-15 Esteem福岡	(092)476-7106
沖縄三菱電機販売(株)		〒901-2223	沖縄県宜野湾市大山7-12-1	(098)898-1111(代)

## 三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

●三菱電機お客さま相談センター 家電品の購入相談・取扱方法

フリーダイヤル **0120-139-365** (無料) (受付時間365日24時間)  
TEL **0570-077-365** (有料) 携帯電話の場合  
FAX **0570-088-365** (有料)

フリーダイヤル・ナビダイヤルをお使いいただけない場合はTEL.03-3414-9655 FAX.03-3413-4049(有料)

■ご相談対応 平日 9:00~19:00  
土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00 左記以外の時間は受付のみ可能です。

\*電話番号は変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
\*電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

●「小型業務用エコキュート」のホームページ  
[www.MitsubishiElectric.co.jp/smallheatpump](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/smallheatpump)



表示を正しく  
家電公取協会員

●お買い求め、ご相談は信用とサービスの行きといた当店へどうぞ。

